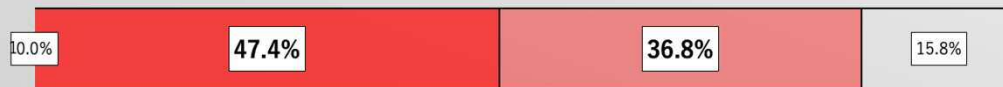


R3年度 在宅医療・介護連携推進事業

全国調査結果 島根県まとめ

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



- 1. 医療系部署 (例: 地域医療課、健康推進課等)
- 2. 介護系部署 (例: 高齢福祉課、介護福祉課等)
- 3. 主に地域包括ケア関連業務を行う部署 (地域包括ケア推進課)
- 4. その他



※ 特に、ピンク色のグラフに注目してご覧ください。

R4.7.28

島根県高齢者福祉課地域包括ケア推進室

(tel:0852-22-6182)

調査の概要

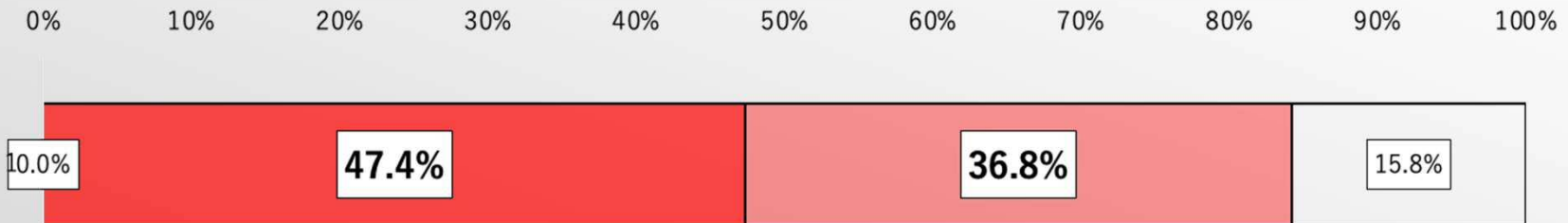
医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護の一体的な提供が求められています。

このため、介護保険の地域支援事業として在宅医療・介護連携推進事業が位置付けられ、市町村が主体となって取り組むこととされました。

本調査は、市町村の在宅医療・介護連携推進事業の取り組み状況を「見える化」するため、厚生労働省が継続調査しているものです。
令和3年度調査分については、令和4年6月末に取りまとめられています。

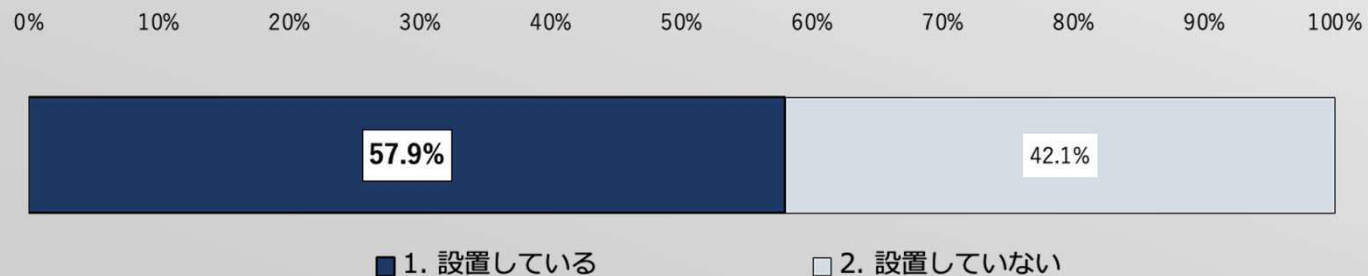
1. 「在宅医療・介護連携推進事業の担当課」 市町村においては、介護系の部署が多くなっています。

在宅医療・介護連携推進事業を主として担当している部署の種類について、最も近いものをお知らせください。



- 1. 医療系部署 (例: 地域医療課、健康推進課等)
- 2. 介護系部署 (例: 高齢福祉課、介護福祉課等)
- 3. 主に地域包括ケア関連業務を行う部署 (地域包括ケア推進課)
- 4. その他

問1 貴市区町村では、在宅医療・介護連携の推進に際して検討するための協議会を設置されていますか。

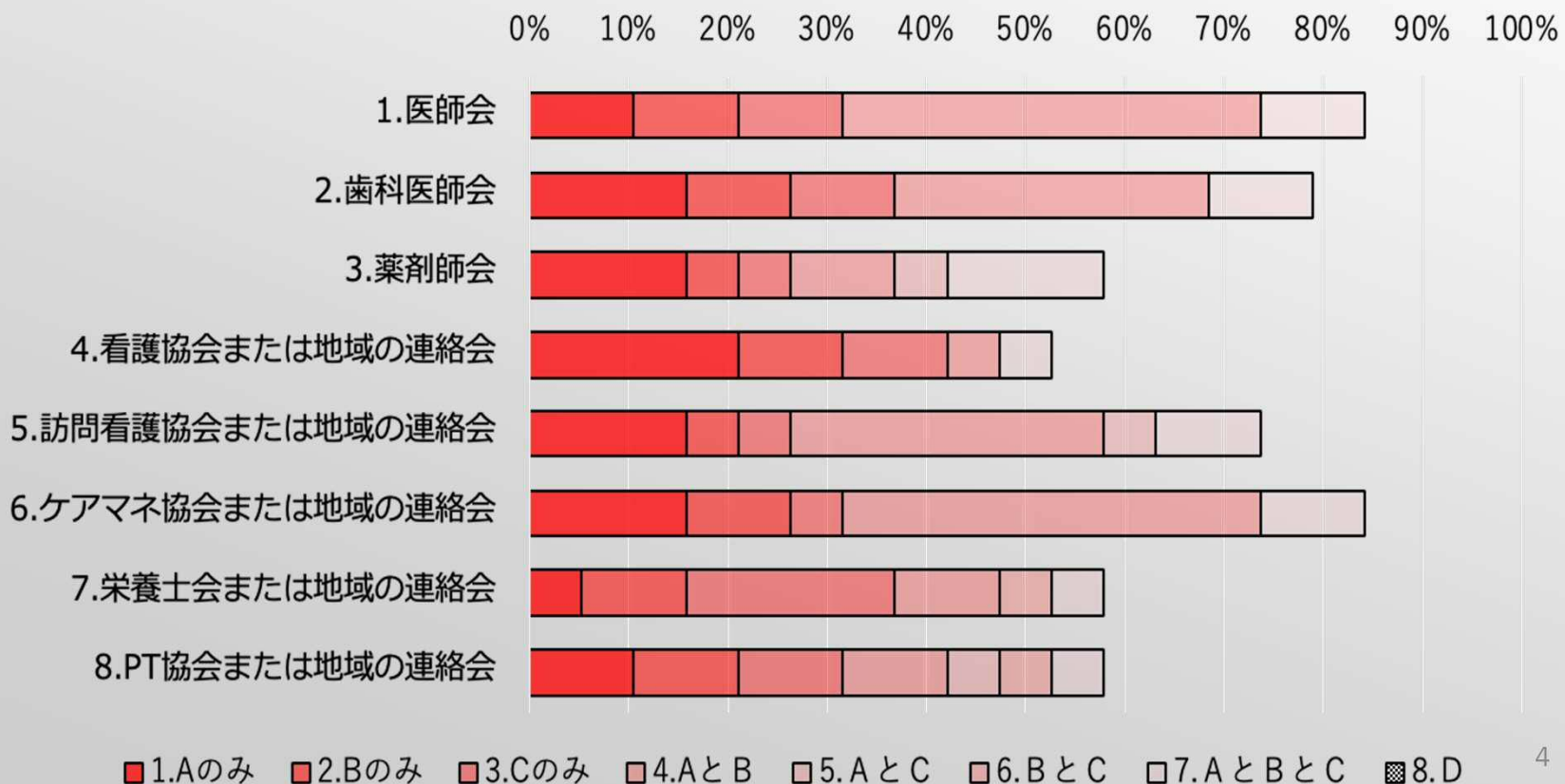


2.① 「各団体との関係」

在宅医療介護連携を進めていく上では、市町村のよきパートナーとなっています。

問2 次に示す団体との関係について、選択してください。

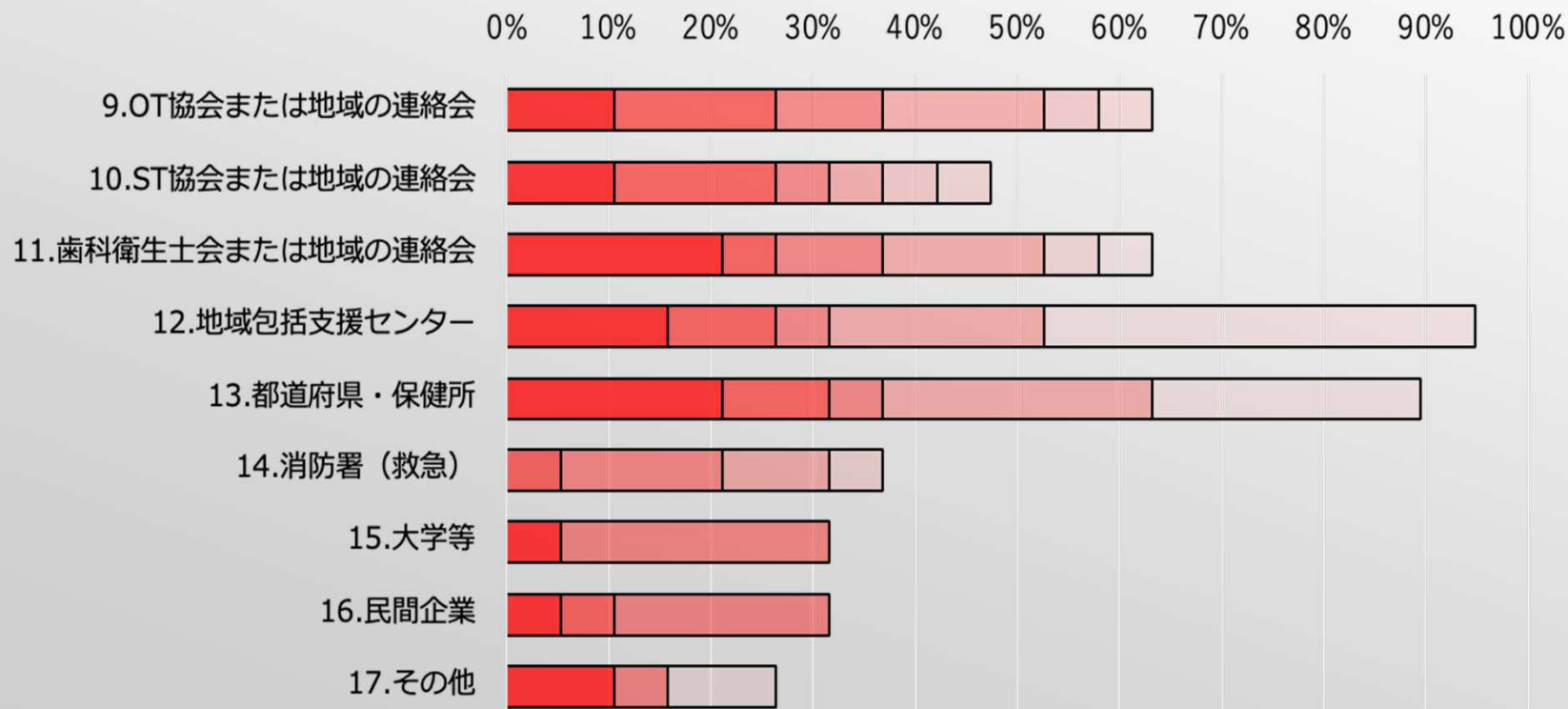
- A. 協力している（在宅医療・介護連携に関する会議への参加）
- B. 協力している（在宅医療・介護連携に関する事業への参加）
- C. 協力している（その他の協力）
- D. 協力を予定している
- E. 特に無し



2.② 「各団体との関係」 在宅医療介護連携を進めていく上では、市町村のよきパートナーと なっています。

問2 次に示す団体との関係について、選択してください。

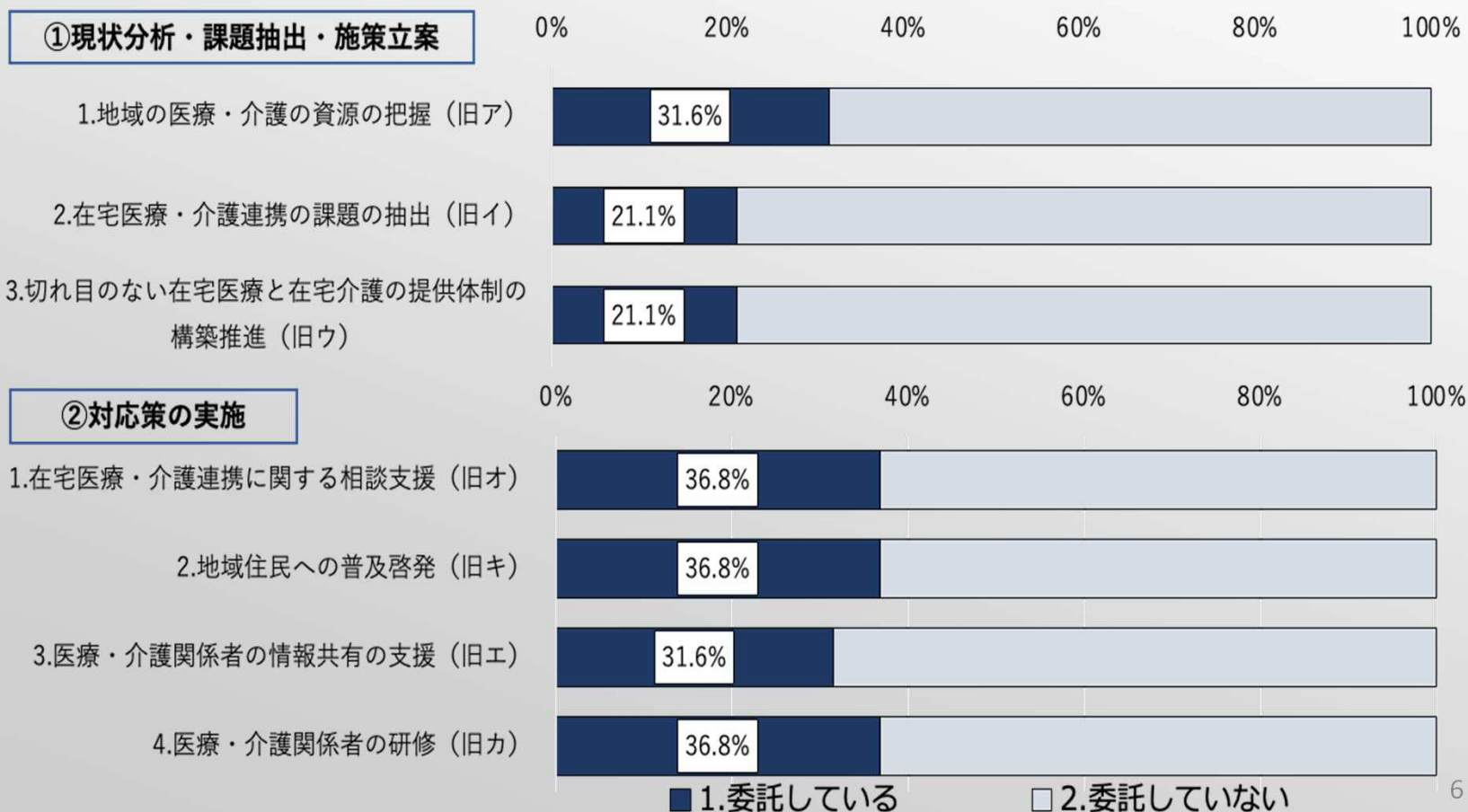
- A. 協力している（在宅医療・介護連携に関する会議への参加）
 B. 協力している（在宅医療・介護連携に関する事業への参加）
 C. 協力している（その他の協力） D. 協力を予定している E. 特に無し



■ 1.Aのみ ■ 2.Bのみ ■ 3.Cのみ ■ 4.AとB ■ 5.AとC ■ 6.BとC ■ 7.AとBとC ■ 8.D

3. 「在宅医療・介護連携推進事業の委託」 3割程度の市町村で委託実施されています。

問3 貴市区町村における在宅医療・介護連携推進事業のうち、委託されている事業項目はありますか。 ①現状分析・課題抽出・施策立案 ②対応策の実施



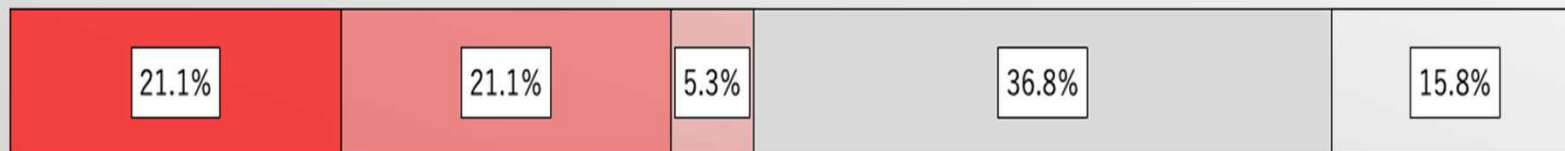
4. 「在宅医療介護連携における、4つの場面」 （日々の療養、入退院、緊急時、看取り）を意識した取り組みが整理できているのは約半数となっています。

問4 貴市区町村における在宅医療・介護連携推進事業の状況について

①現状分析・課題抽出・施策立案（PDCAによる事業推進について、旧ア、イ、ウ）

①-1. めざすべき姿の設定

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



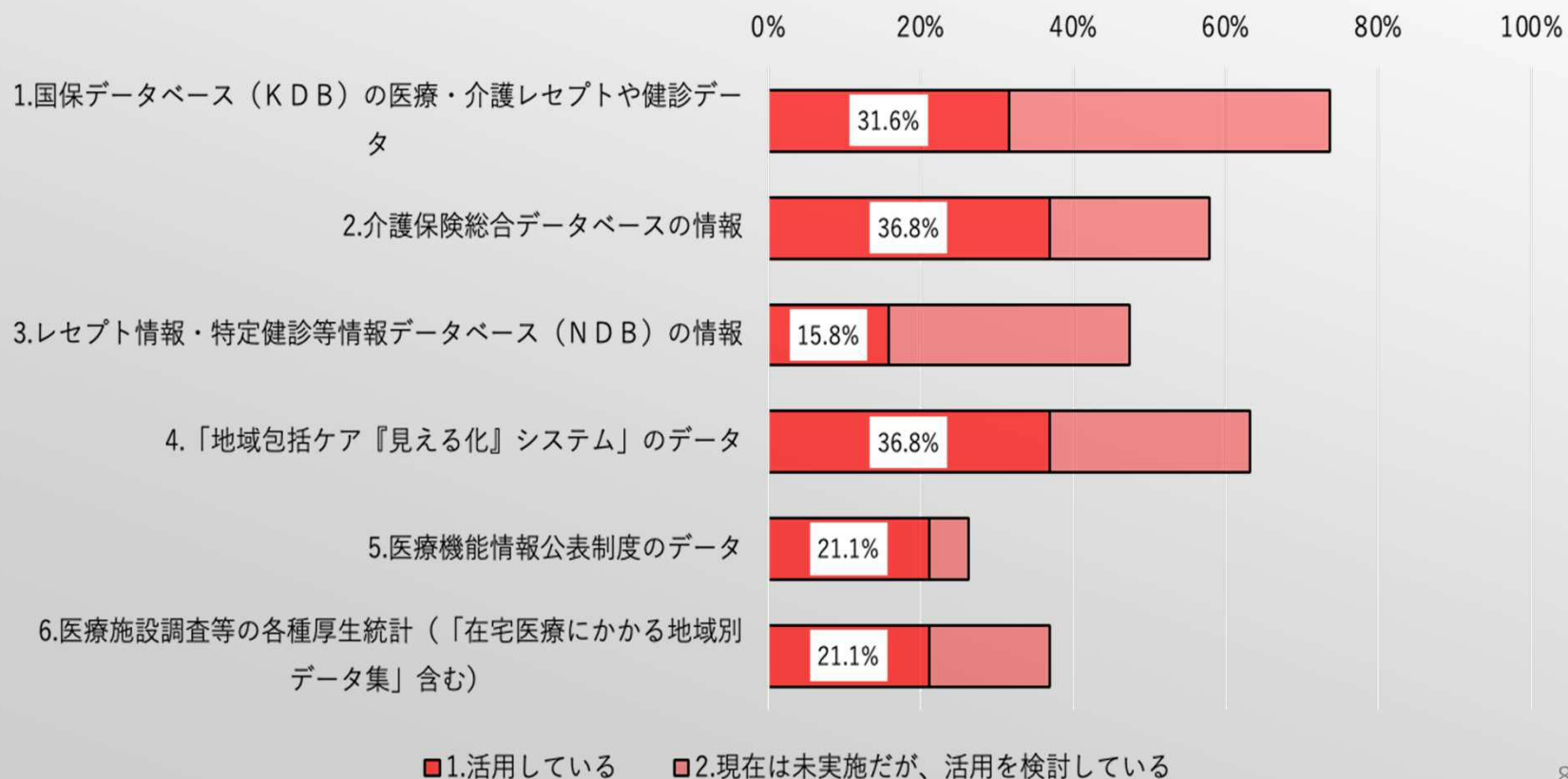
- 1. 4つの場面で設定し、介護保険事業計画に記載
- 2. 4つの場面で設定し、在宅医療・介護の関係者では共有しているが、介護保険事業計画では記載していない
- 3. 4つの場面で設定しているが、自治体内の共有に留まる
- 4. 本事業の実施によって目指す姿の設定はしているが、特に4つの場面での設定はしていない
- 5. 特に設定はしていない

5.① 「定量的な現状把握」

「KDB」や「見える化システム」は活用検討している市町村を含めると6～7割と伸びてきています。

①-2. 現状把握：定量的な現状把握…在宅医療・介護に関する提供状況の確認

①-2.1) 定量的な現状把握として、次のデータを確認しているか教えてください。

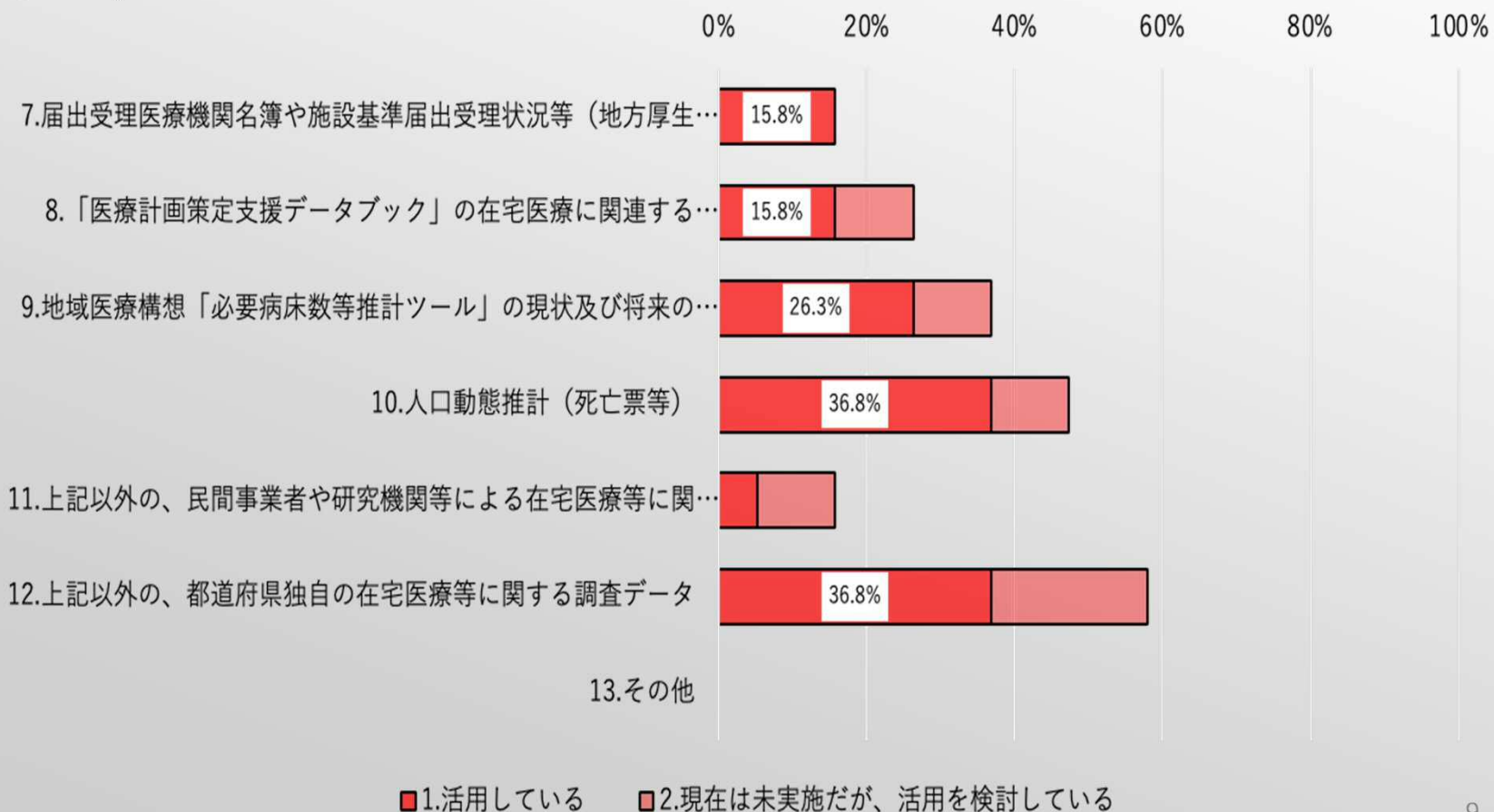


5.② 「定量的な現状把握」

「都道府県独自在宅医療等に関する調査データ」は活用検討している市町村を含めると6割と伸びてきています。

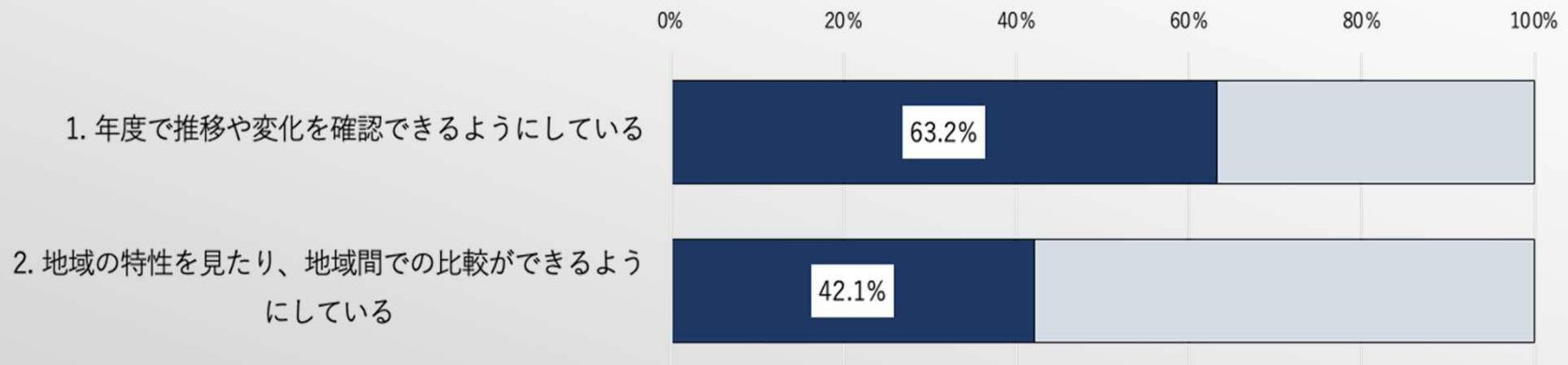
①-2. 現状把握：定量的な現状把握…在宅医療・介護に関する提供状況の確認

①-2.1) 定量的な現状把握として、次のデータを確認しているか教えてください。



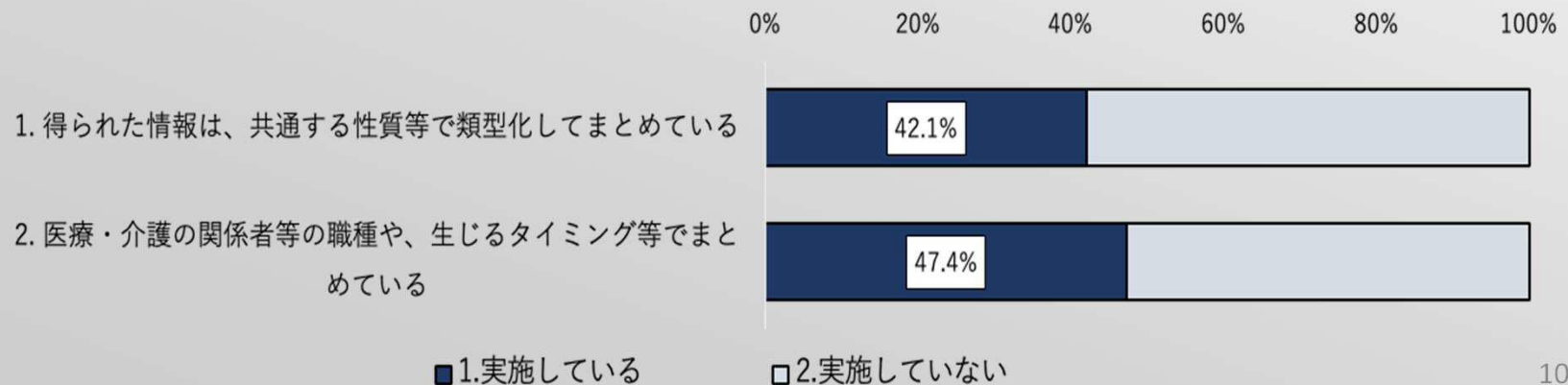
6. 「どのようにデータを活用しているか」 年度による推移や地域間での比較をしています。一方で活用しきれていない市町村も半数以上にのぼります。

①-2.2) 確認したデータをどのようにして活用しているか教えてください。



①-3. 現状把握：定性的な現状把握…4つの場面における状態の把握

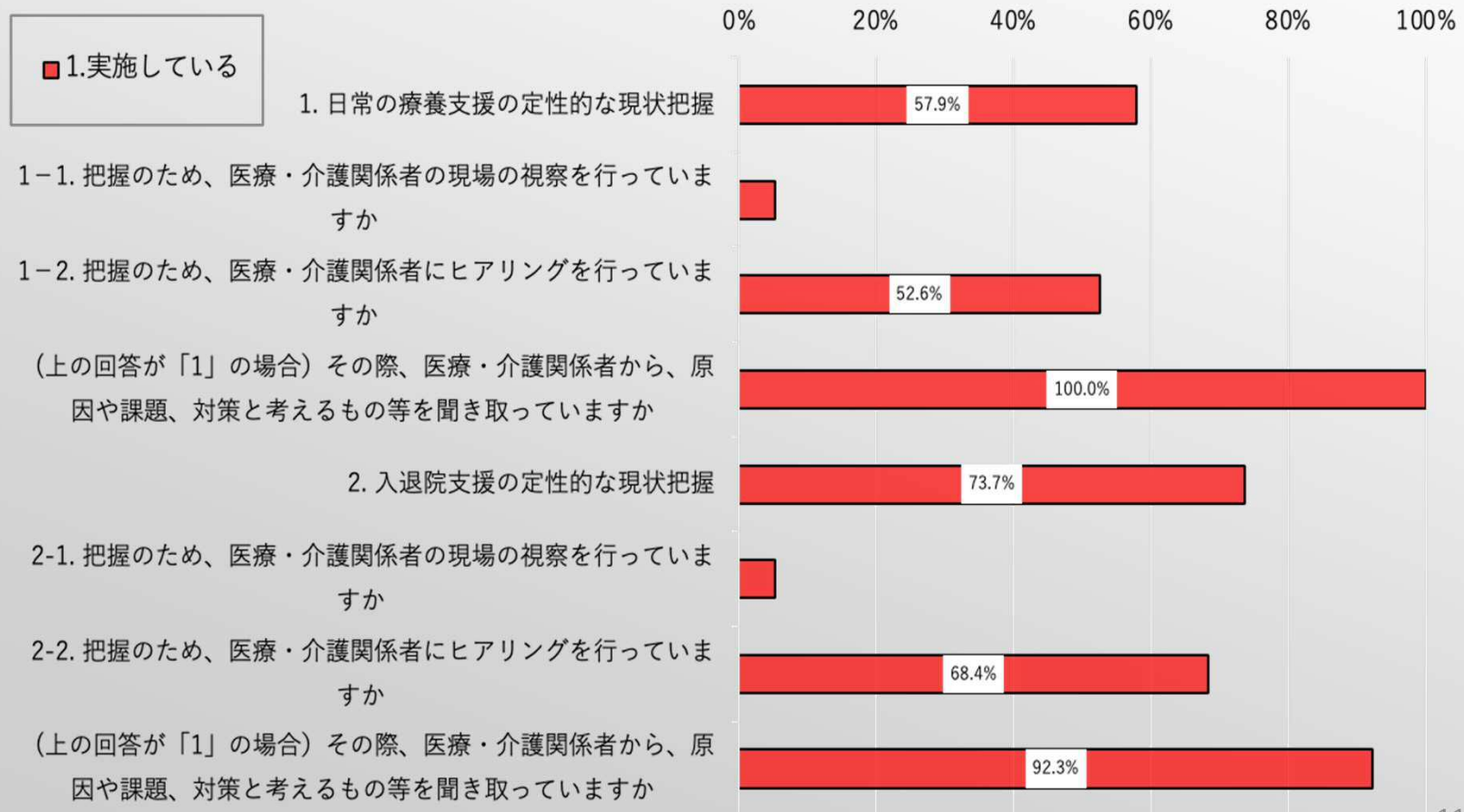
①-3.2) 定性的な現状把握によって得られた情報を、どのようにして活用しているか教えてください。



7. 「日常の療養支援」「入退院時の連携」 専門職へのヒアリングなど、多くの市町村で現状把握ができています。

①-3. 現状把握：定性的な現状把握…4つの場面における状態の把握

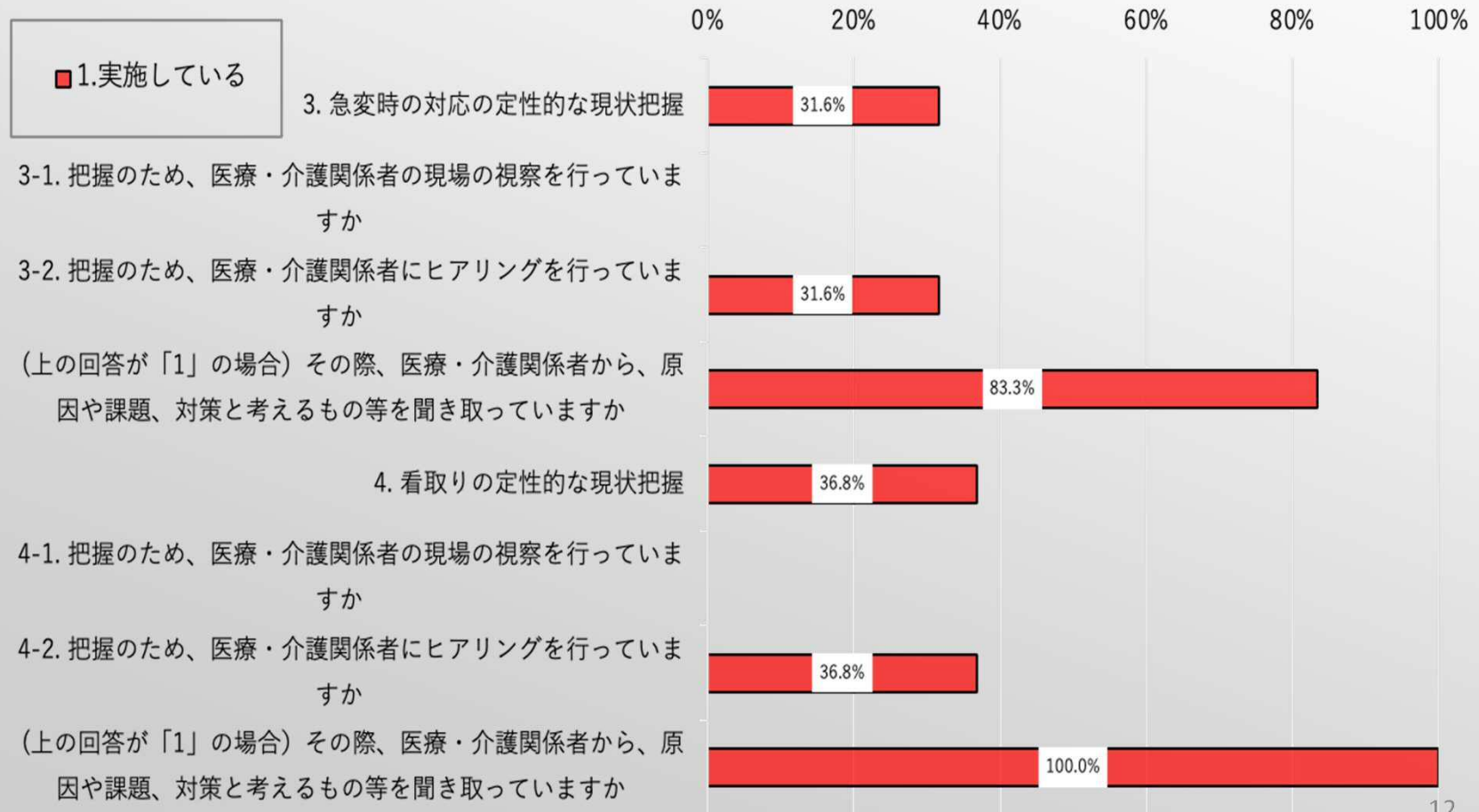
①-3.1) 4つの場面における定性的な現状把握について、どのように行っていますか。



8. 「緊急時の対応」や「看取り」 専門職へのヒアリングなどを各市町村で進めていく必要があります。

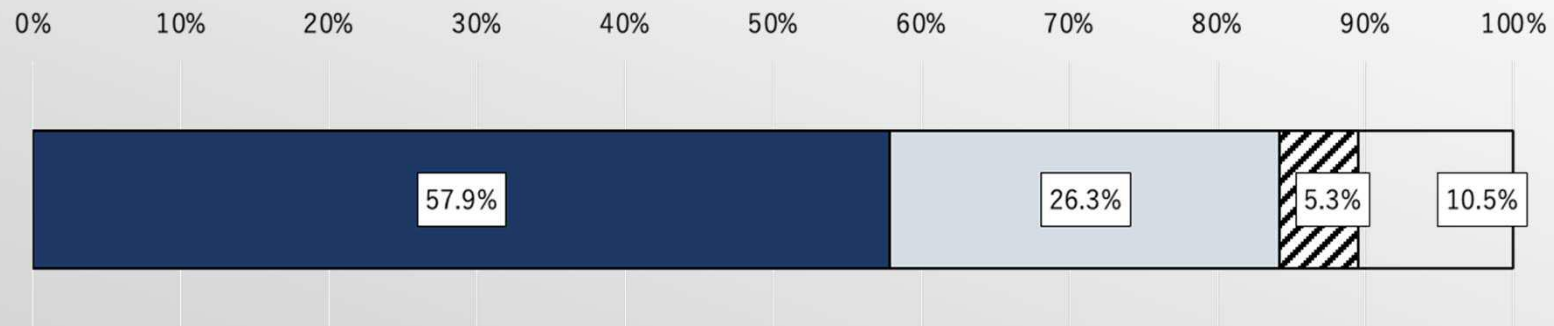
①-3. 現状把握：定性的な現状把握…4つの場面における状態の把握

①-3.1) 4つの場面における定性的な現状把握について、どのように行っていますか。



9. 「人口推計に基づく在宅医療・介護の必要量の把握」 多くの市町村で把握できています。

①-4. 将来の人口推計に基づく在宅医療・介護の必要量（需要）の把握について
在宅医療・介護の将来的な必要量（需要）について、どのように把握していますか。



- 1. 将来の人口推計に加え、地域特性やサービス利用状況等も踏まえて検討している
- 2. 人口推計から把握している
- 3. その他
- 4. 行っていない

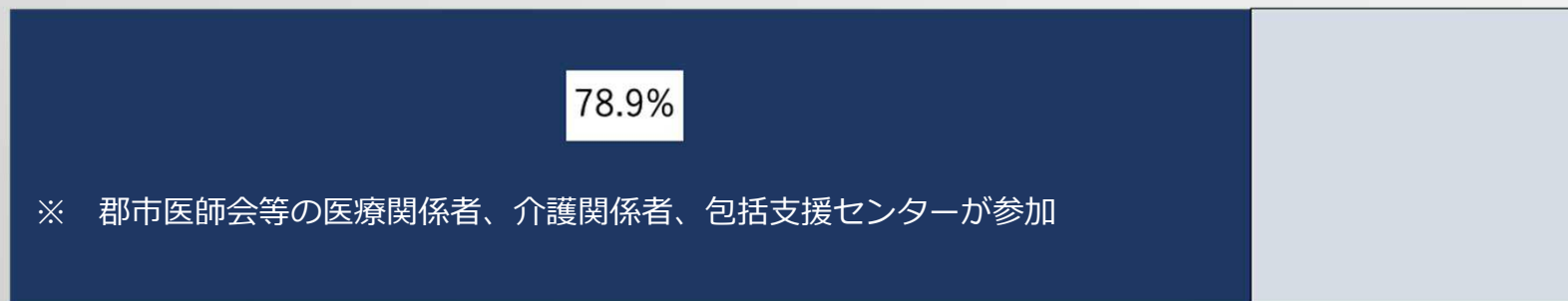
10. 「課題の抽出と対策の検討」

多くの市町村で検討する場が設けられており、医療介護関係者などが参加しています。

①-5. 課題の抽出と対応策の検討

①-5.1) 課題の抽出や対応策について、貴市区町村以外の者が参加して検討する場がありますか。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



※ 郡市医師会等の医療関係者、介護関係者、包括支援センターが参加

■ 1. ある

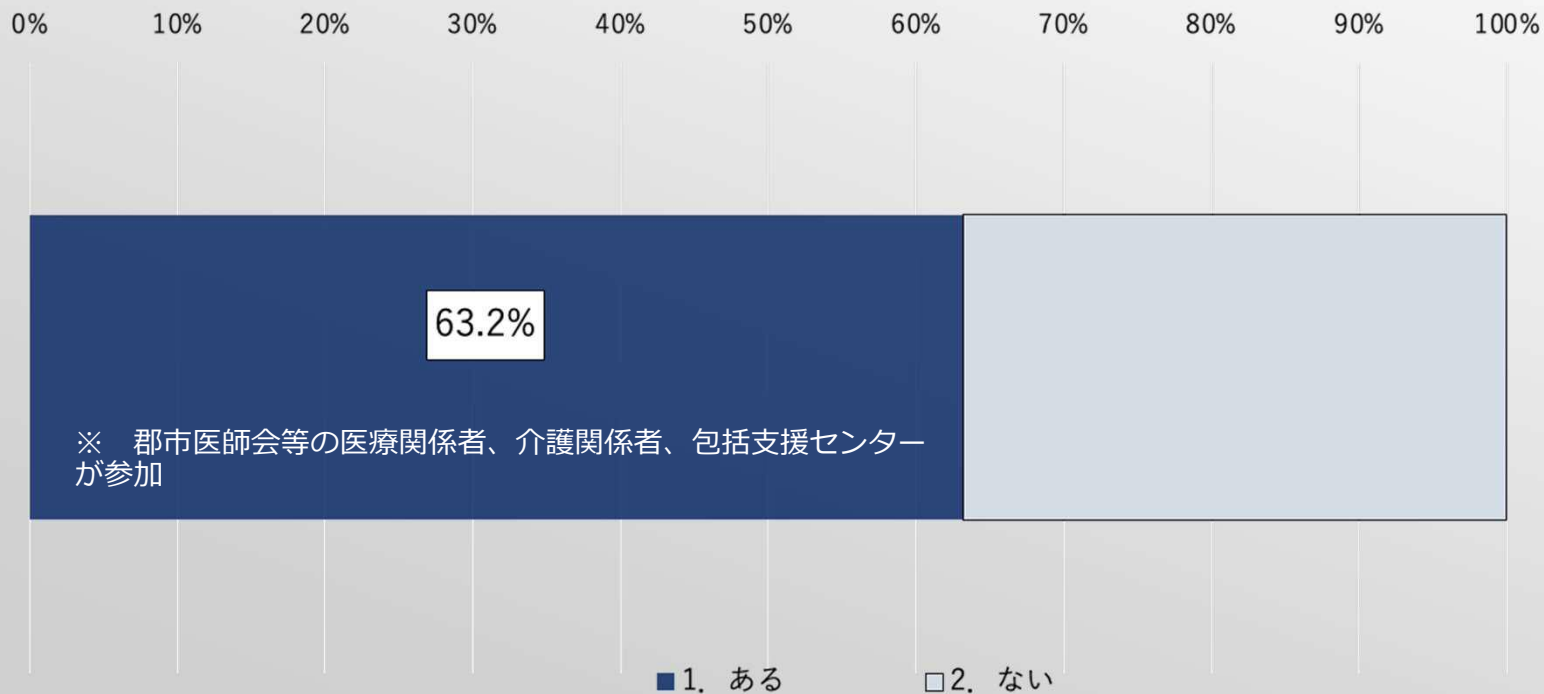
□ 2. ない

11. 「取り組むべき目標」

多くの市町村で検討する場が設けられており、医療介護関係者などが参加しています。

①-6. 取り組むべき目標の設定

①-6.1) 取り組むべき目標について、貴市区町村以外の者が参加して検討する場がありますか。

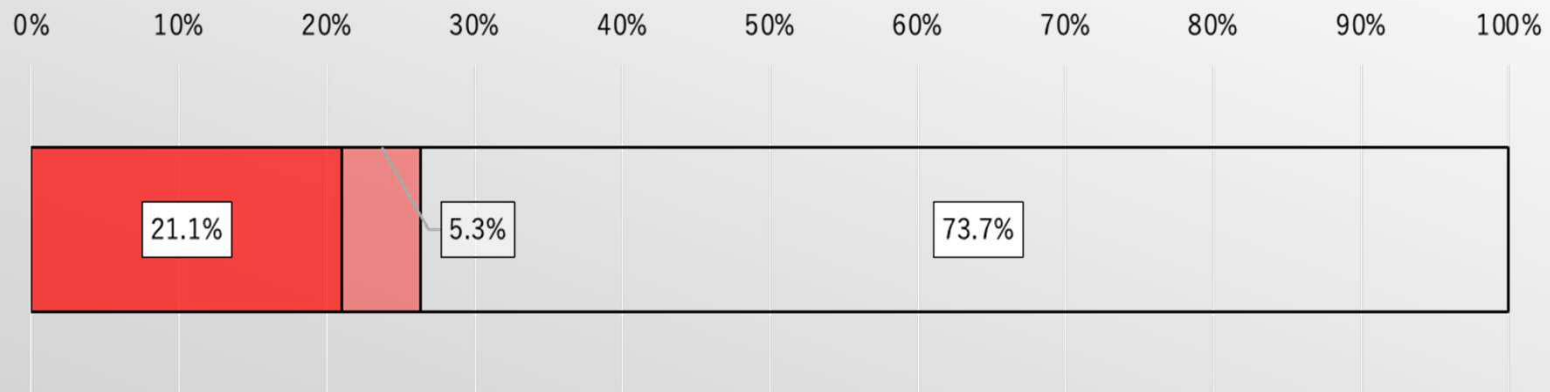


12.① 「評価項目（指標）」の設定

伸び悩んでいます。好事例として「出雲市在宅医療・介護連携基本計画」が挙げられます。

①-7. 施策立案時における評価項目（指標）の設定について

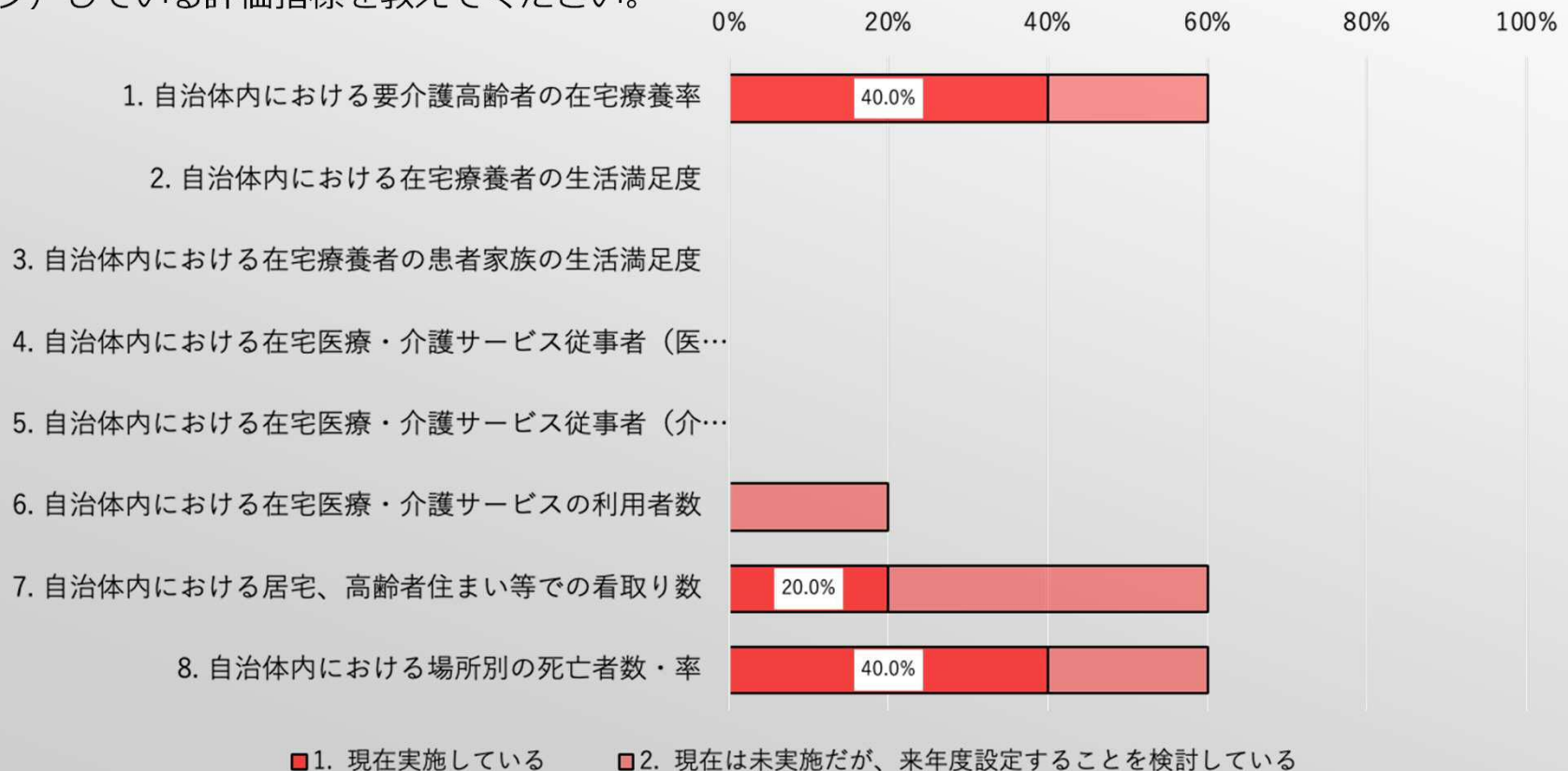
①-7.1) 施策を検討する際に、その効果を把握する評価項目（指標）について設定していますか。



■ 1. 現在実施している ■ 2. 現在は未実施だが、来年度設定することを検討している □ 3. 未実施であり、特に検討していない

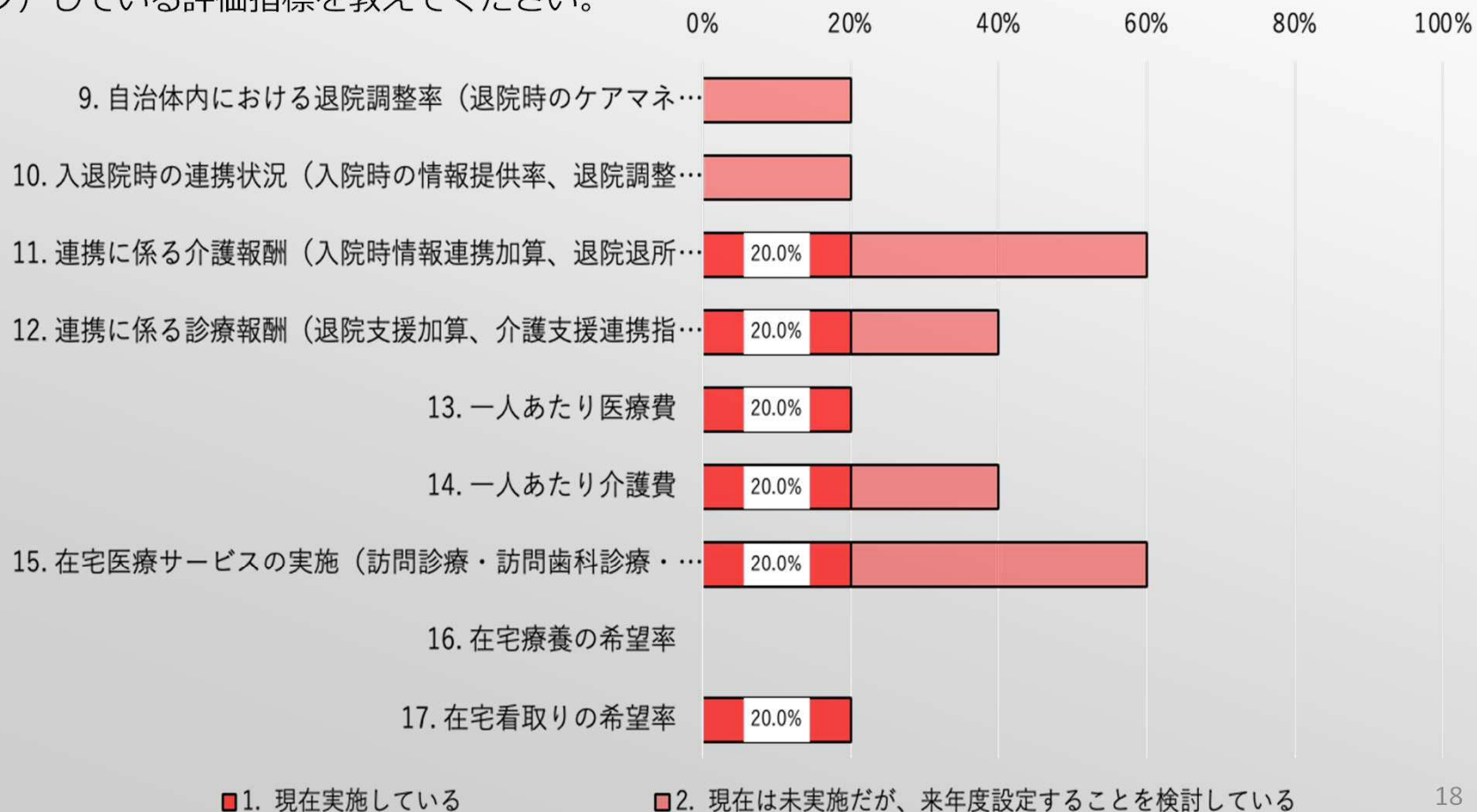
12.② 「評価項目（指標）」の設定 在宅療養者の生活満足度などは、設定されていないのが現状です。

①-7.2) 上の問で「1. 現在実施している」又は「2. 現在は未実施だが、来年度設定することを検討している」と回答した方に伺います。実施した取組の効果・事業進捗を評価する際に活用（モニタリング）している評価指標を教えてください。



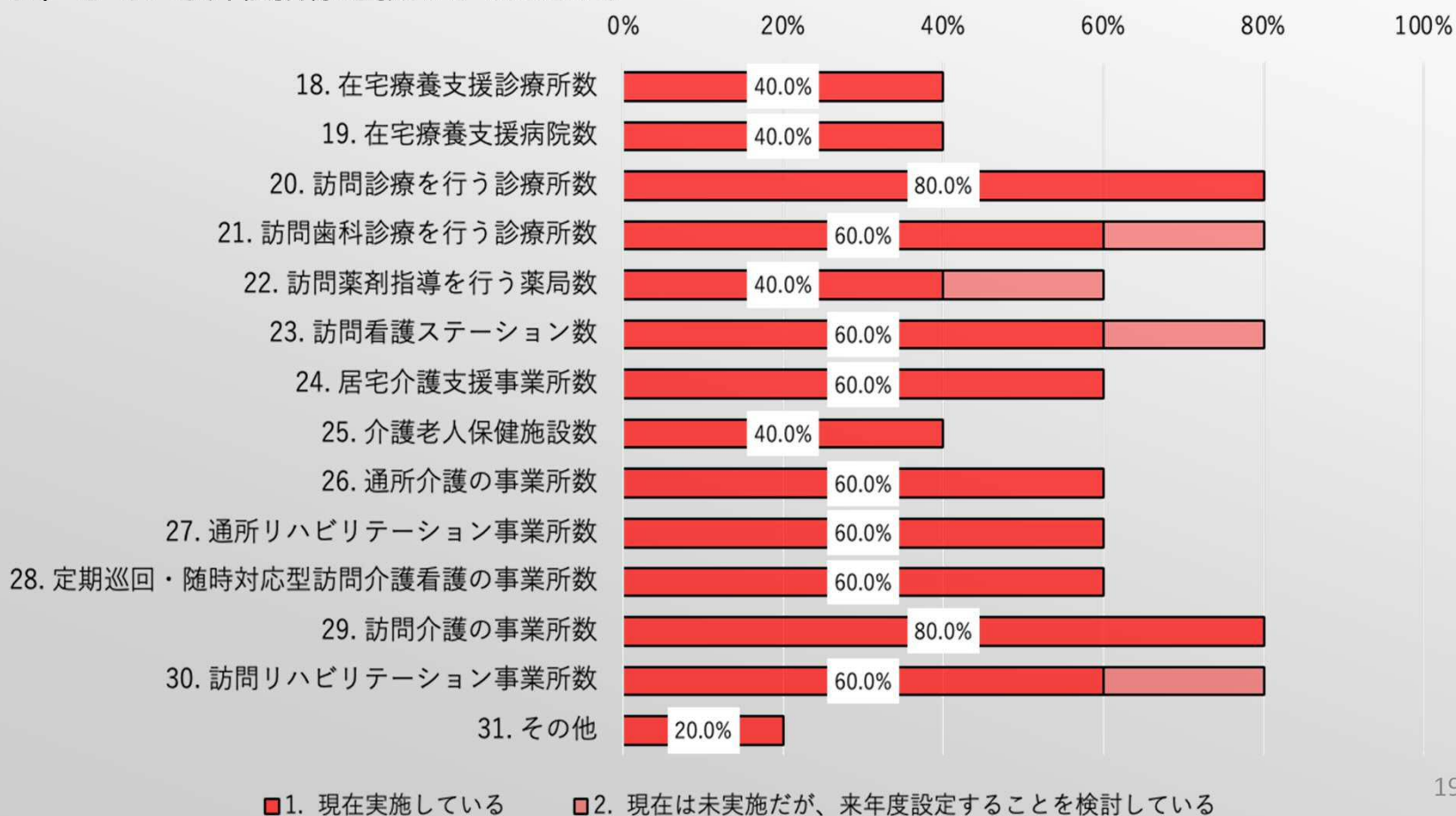
12.③ 「評価項目（指標）」の設定 入退院時の連携に関する項目は、徐々に設定されつつあります。

①-7.2) 上の問で「1. 現在実施している」又は「2. 現在は未実施だが、来年度設定することを検討している」と回答した方に伺います。実施した取組の効果・事業進捗を評価する際に活用（モニタリング）している評価指標を教えてください。



12.④ 「評価項目（指標）」の設定 定量的な指標は設定しやすい傾向にあります。

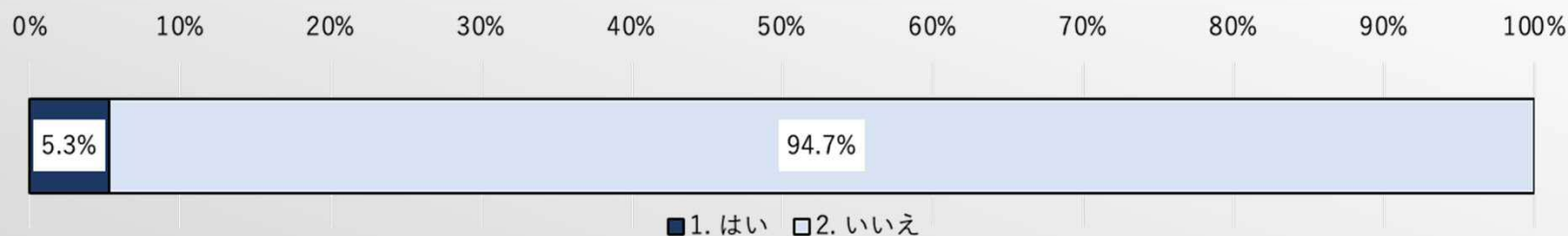
①-7.2) 上の問で「1. 現在実施している」又は「2. 現在は未実施だが、来年度設定することを検討している」と回答した方に伺います。実施した取組の効果・事業進捗を評価する際に活用（モニタリング）している評価指標を教えてください。



13. 取組改善（PDCAの運用）

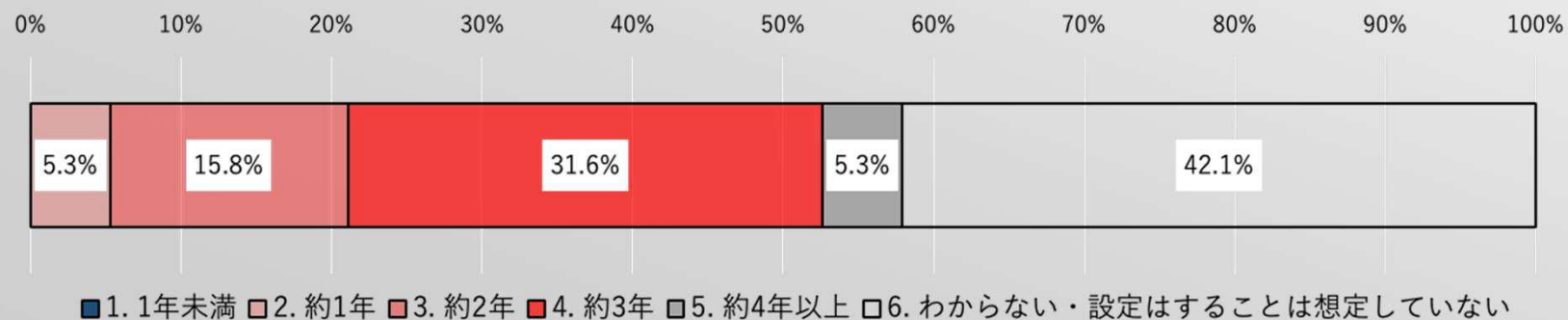
ほとんど公表されていません。また、取組改善の期間は1～3年となる市町村が半数を占めています。

①-8. 在宅医療・介護連携推進事業の取組改善（PDCAの運用）の結果について
貴市区町村では、在宅医療・介護連携推進事業の取組改善（PDCAの運用）の結果について、公表していますか。



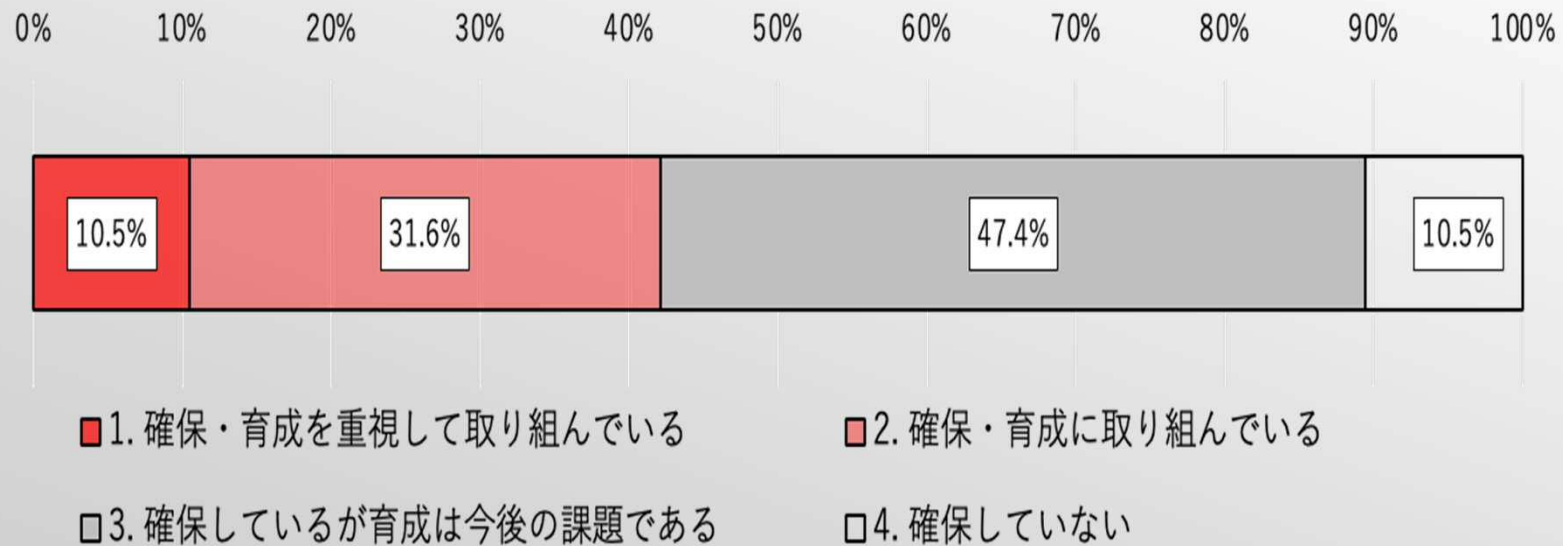
①-9. 在宅医療・介護連携推進事業の取組改善（PDCAの運用）に要する目安としているおおよその期間

貴市区町村において、在宅医療・介護連携推進事業の取組改善（PDCAの運用）に要する目安としているおおよその期間を教えてください。



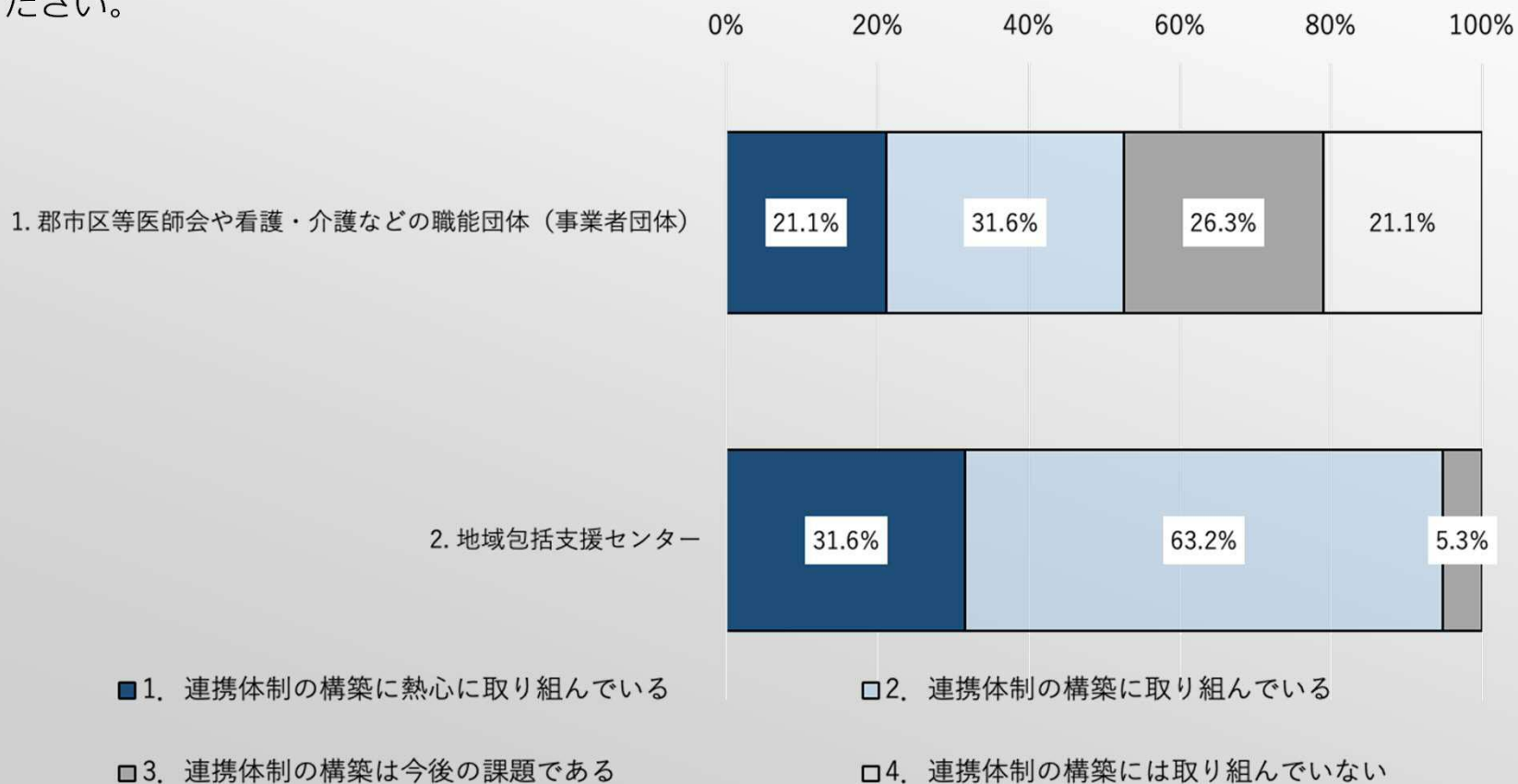
14. 「在宅医療・介護連携に関する相談支援」 人材育成に半数の市町村が課題感を持っています。

②-1.2) 「在宅医療・介護連携に関する相談支援」のため、多様な相談への対応が可能な人材の確保・育成の状況について教えてください。



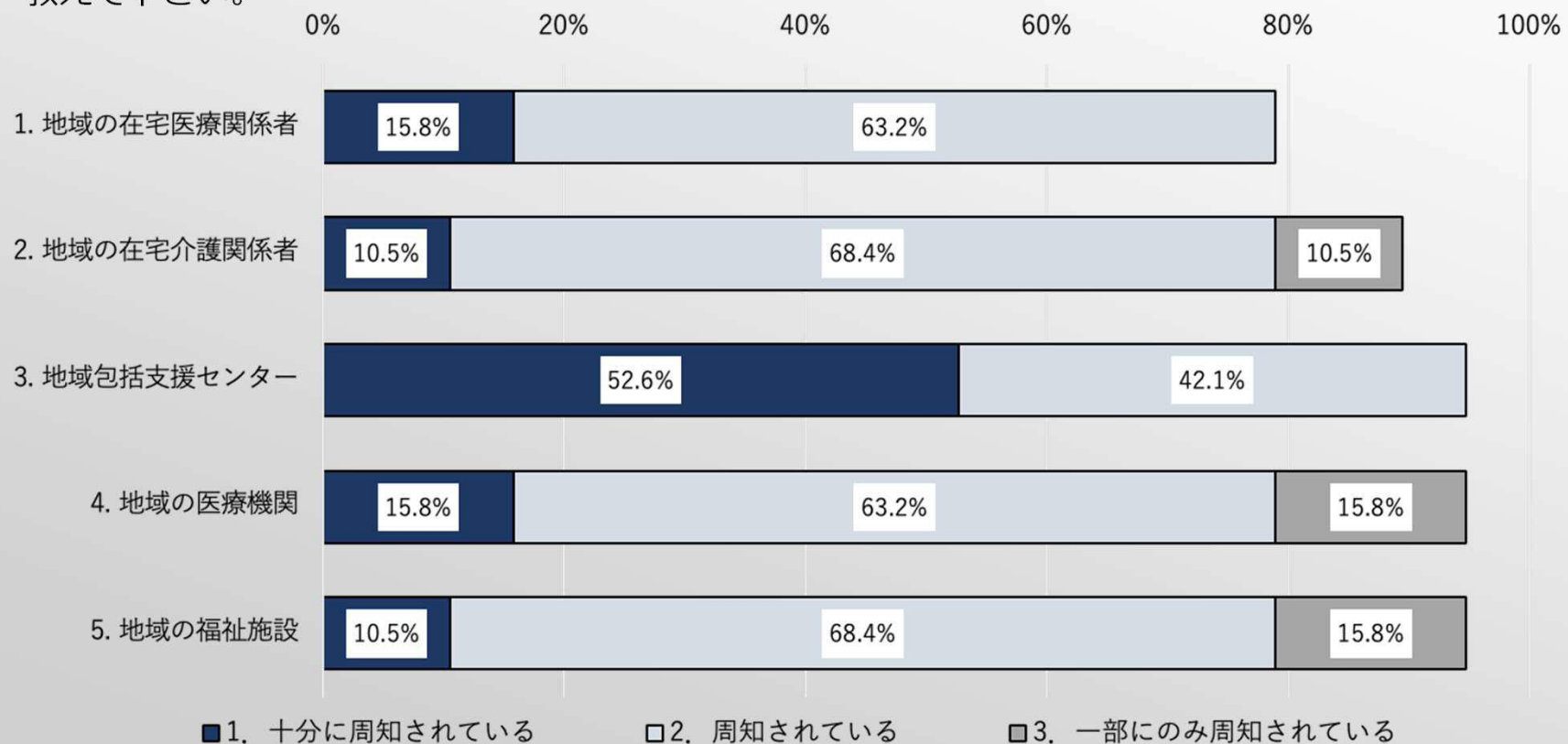
15. 「相談支援における他機能との連携」 職能団体との連携においては、半数の市町村が課題感を持っており、 今後改善が求められます。

②-1.3) 「在宅医療・介護連携に関する相談支援」と他機能との連携体制の状況について教えてください。



16. 「関係者への相談窓口の周知」 多くの市町村で取り組みが進んでいます。

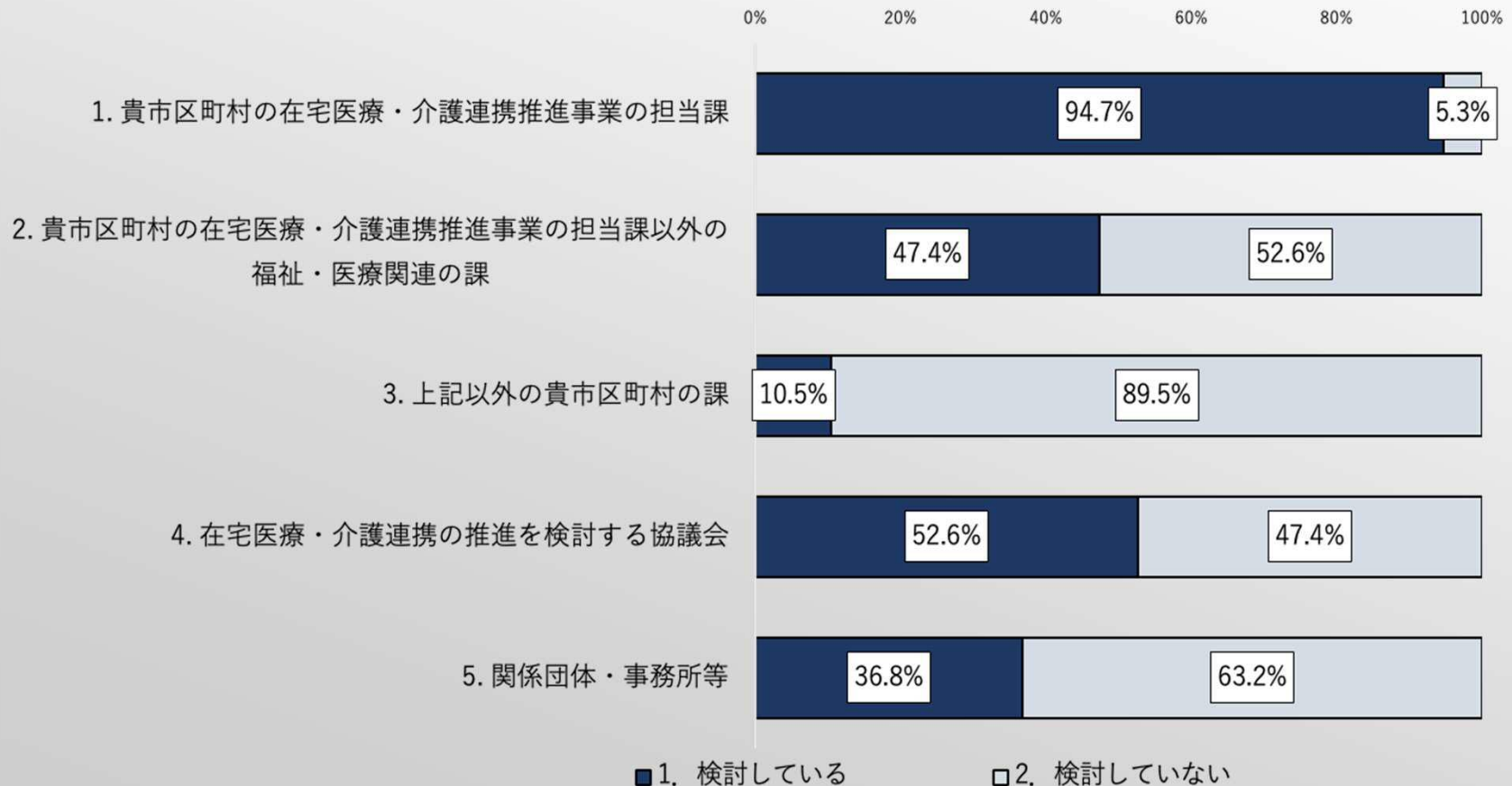
②-1.4) 地域の医療・介護の関係者に向けた「在宅医療・介護連携を実施する相談支援」の周知状況を教えてください。



17.① 「地域住民への普及啓発」 担当課以外とのすり合わせが難しいことが読み取れます。

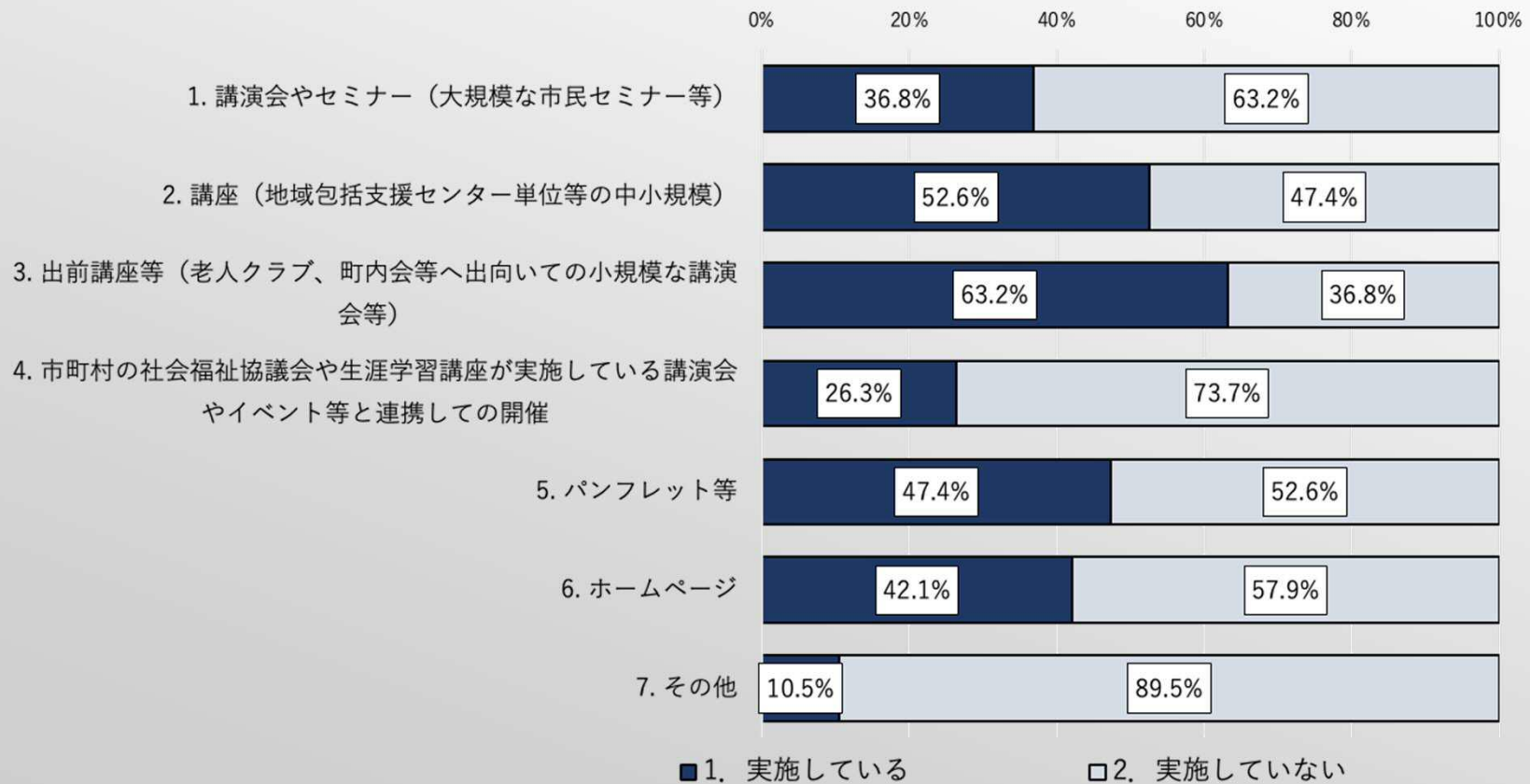
②-2. 地域住民への普及啓発

②-2.1) 地域に向けて普及啓発する内容等について、どこと検討を行っているか教えてください。



17.② 「地域住民への普及啓発」 講演会や講座といった「場づくり」、パンフレットなどの「ツール 作成」により普及啓発が図られています。

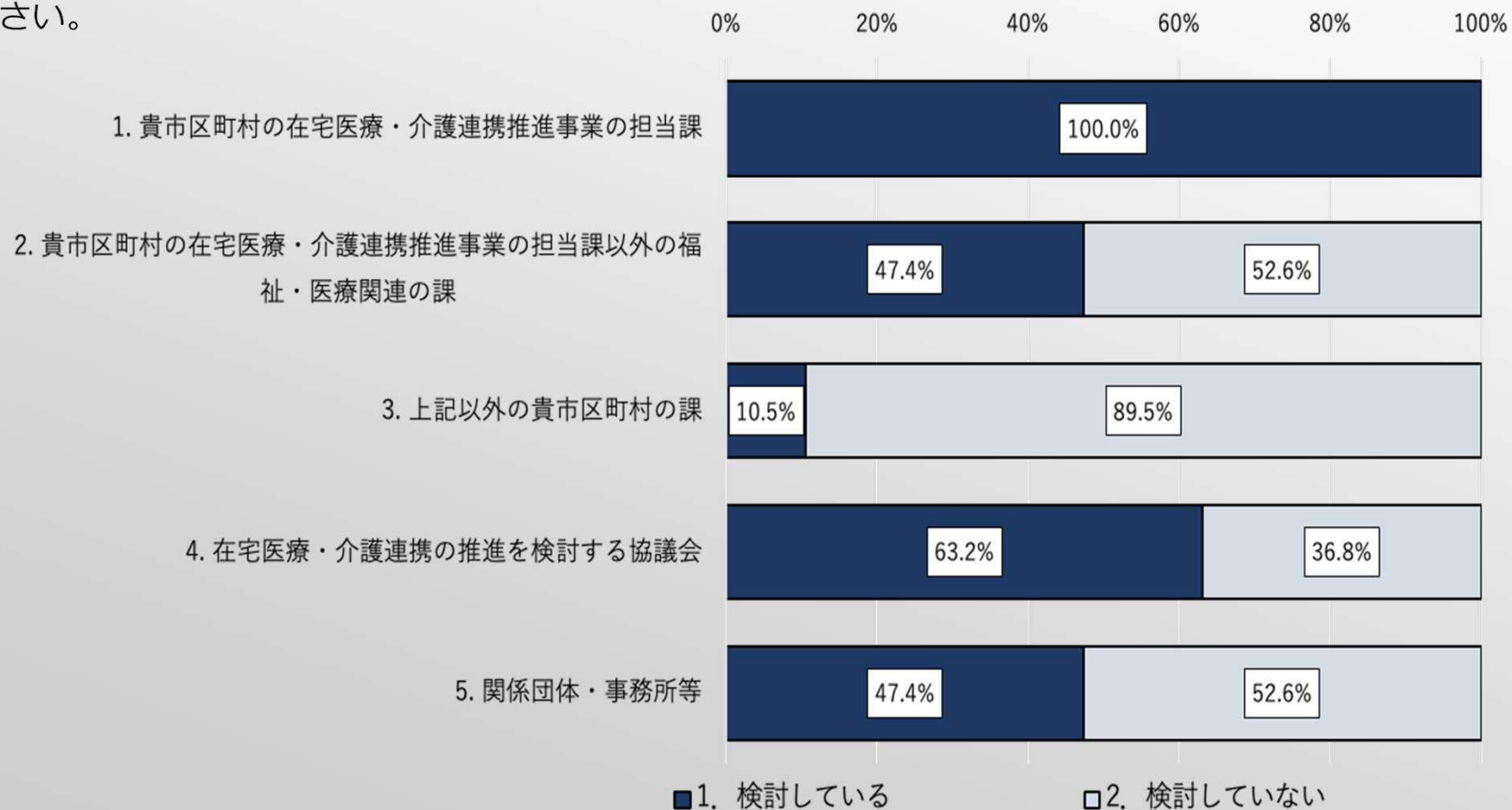
②-2.2) 普及啓発（情報提供）として、実施しているものを教えてください。



18. 「医療・介護関係者の情報共有の支援」 担当課以外とのすり合わせが難しいことが読み取れます。

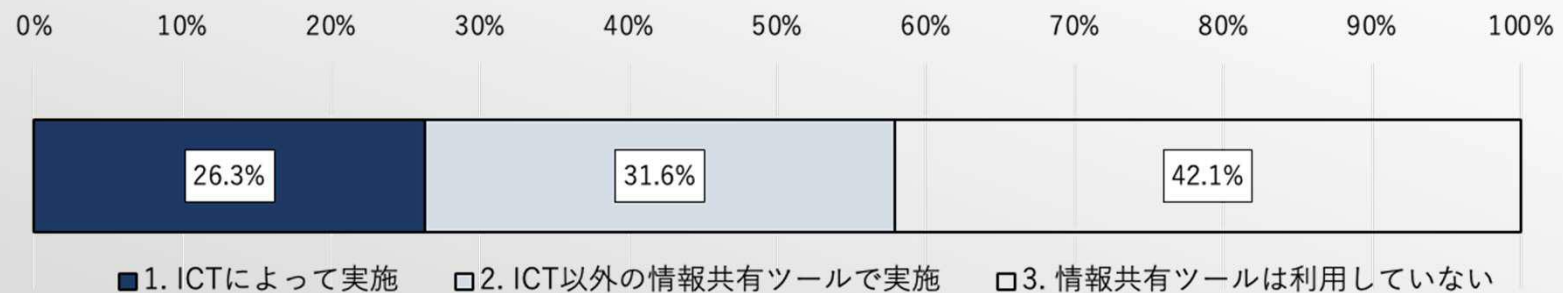
②-3. 医療・介護関係者の情報共有の支援

②-3.1) 医療・介護関係者が情報共有すべき内容について、どこと検討を行っているか教えてください。



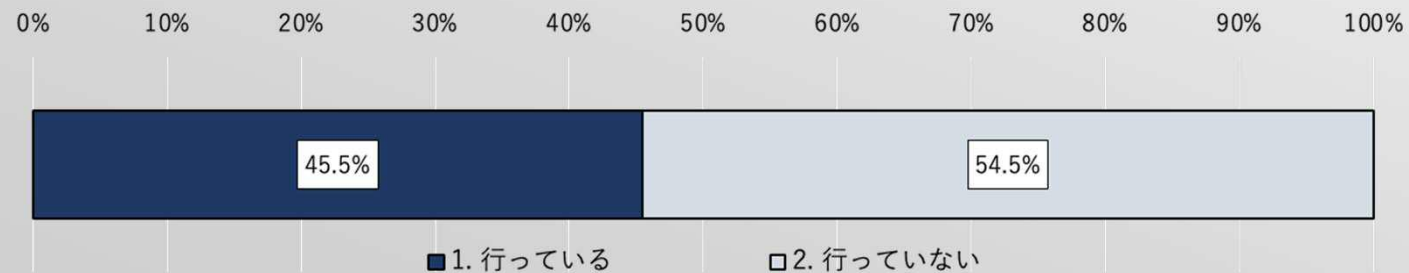
19. 「医療・介護関係者の情報共有」 ICTの活用を含め、情報共有ツールの普及が進みつつあります。

②-3.2) 医療・介護関係者の情報共有について、どのような方法で行っているか教えてください。



上の問で「1. ICTによって実施」又は「2. ICT以外の情報共有ツールで実施」と回答した方に伺います。

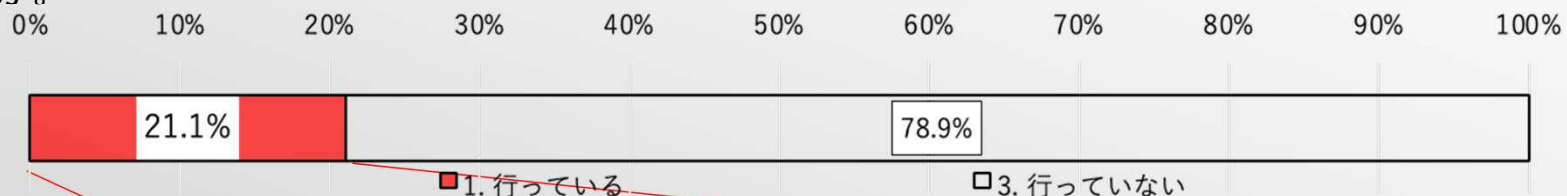
-1.活用状況の把握は行っていますか。



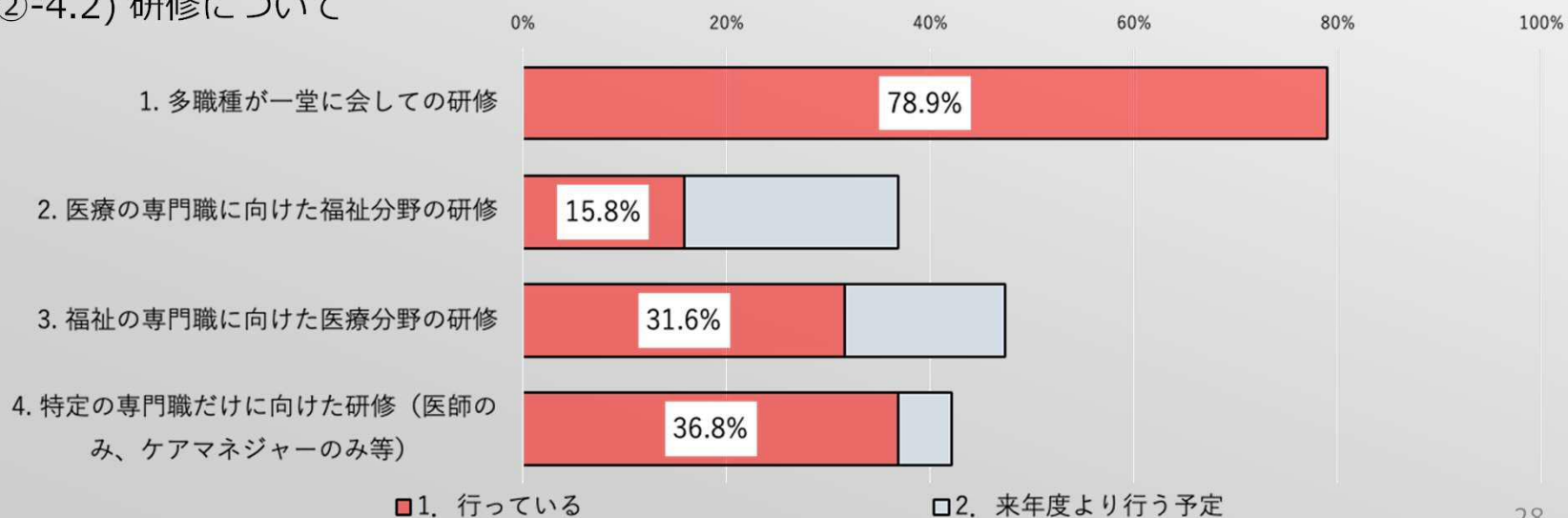
20. 「医療・介護関係者の研修」 実施していない市町村が多数あるようです。

②-4. 医療・介護関係者の研修

②-4.1) 中長期的な研修計画を作成し、達成度合い等を確認しながら研修を企画・開催していますか。

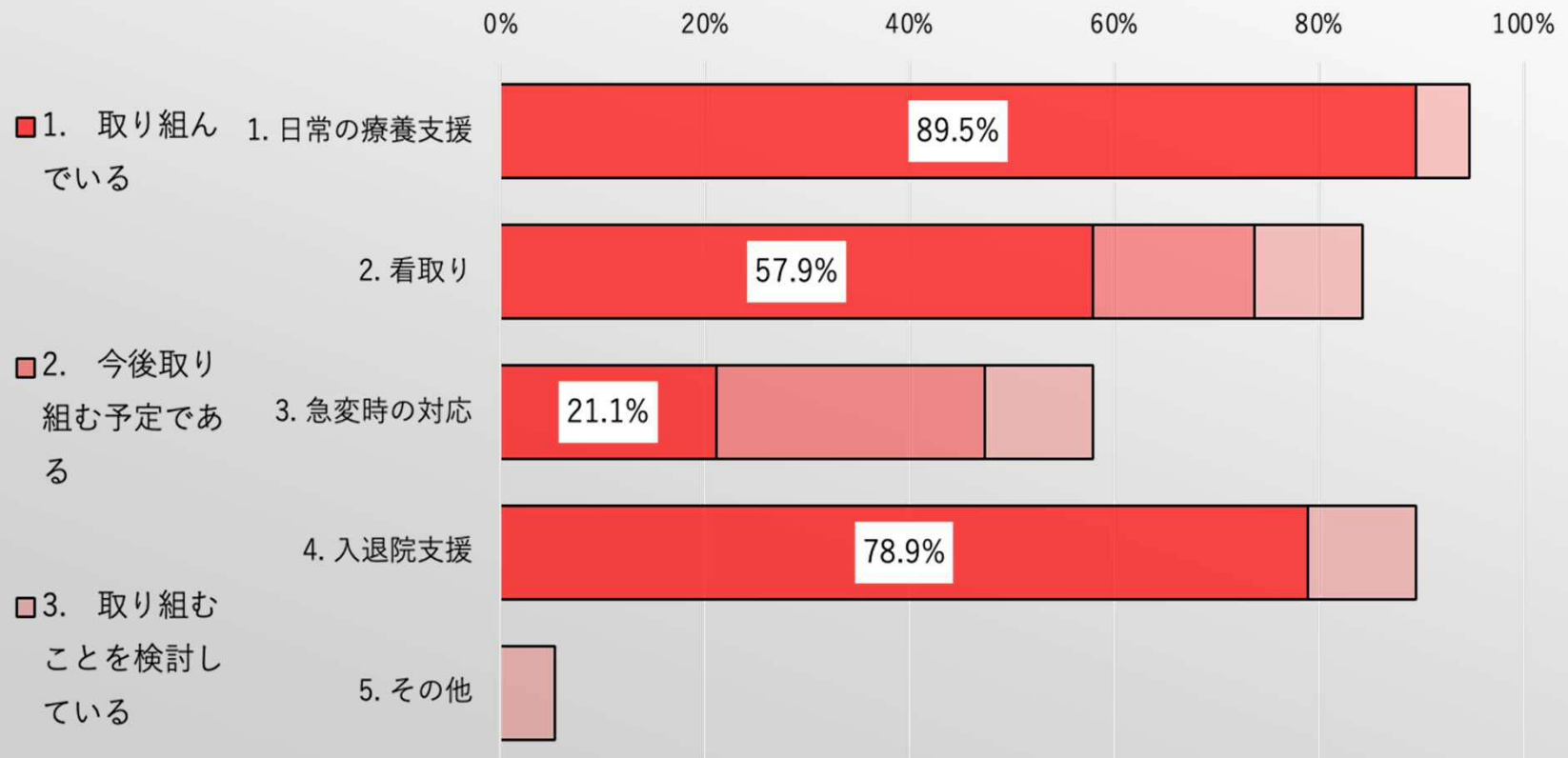


②-4.2) 研修について



**21.① 「4つの場面を意識した取組の状況」
4つの場面の中でも、「急変時の対応」について啓発や取組みが弱い傾向にあります。**

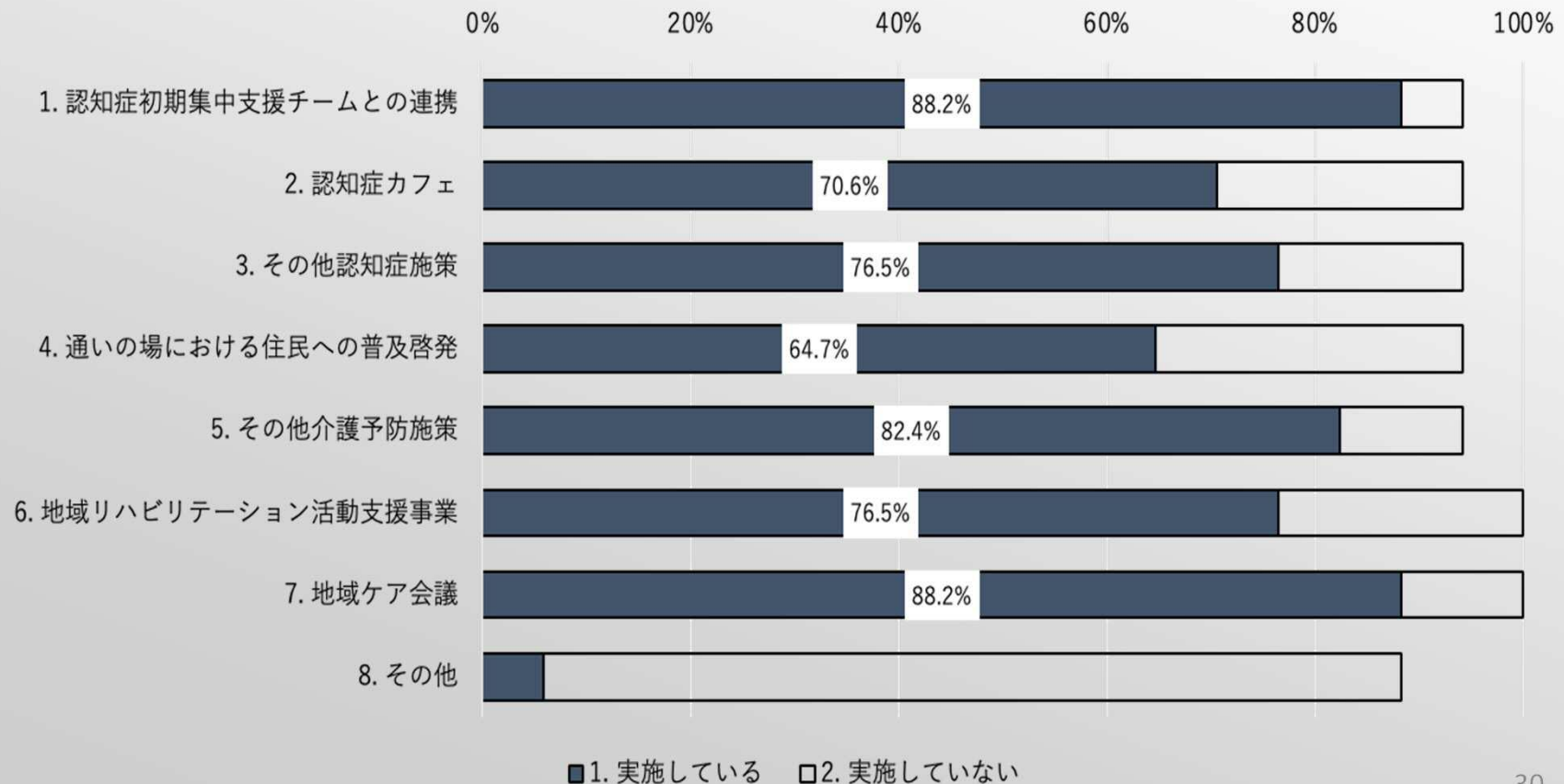
問5 貴市区町村における、在宅医療・介護連携推進事業による「4つの場面」を意識した取組の状況について教えてください。



21. ② 「4つの場面を意識した取組の状況」 「日常の療養支援」においては、認知症事業や介護予防事業などとの連動性が大切です。

①質問5で「1.日常の療養支援」に1もしくは2と回答した方に伺います。

①-1.次のような取組を行っていますか。

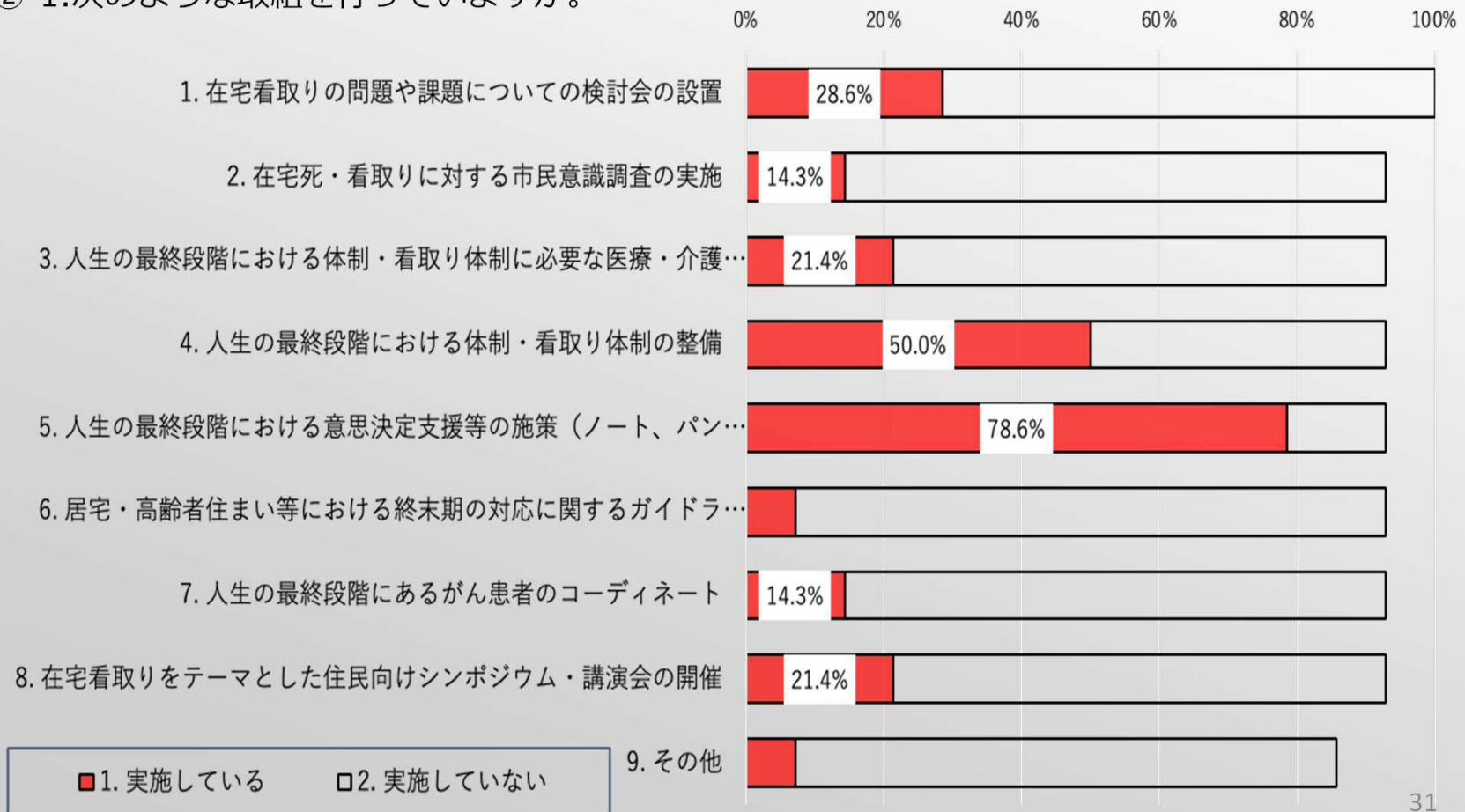


21. ③ 「4つの場面を意識した取組の状況」

「看取り」においては、「終活ノート」などのツール作成が進んでいる一方、専門職への働きかけが弱い傾向にあります。

②質問5で「2.看取り」に1もしくは2と回答した方に伺います。

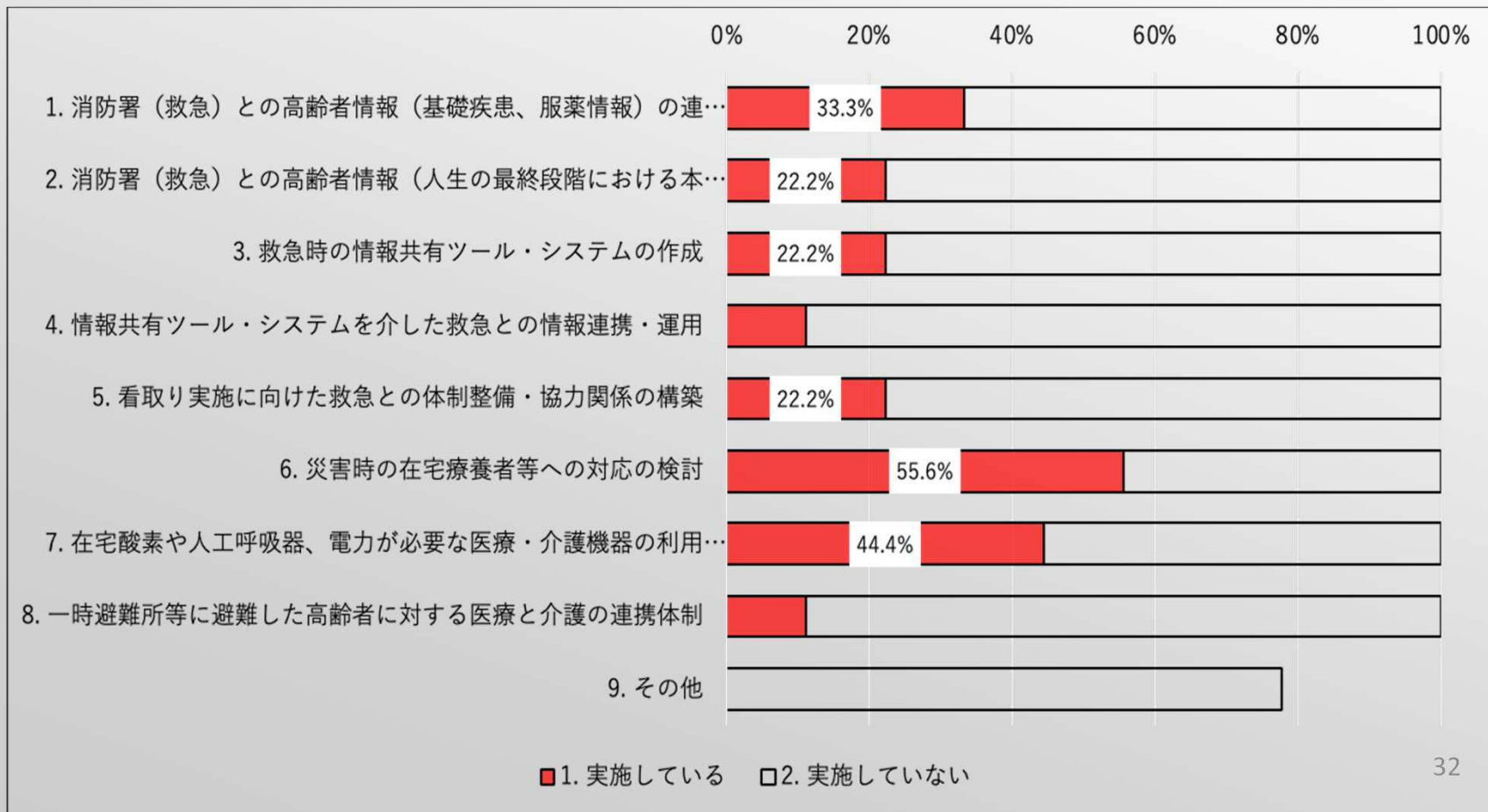
②-1.次のような取組を行っていますか。



21. ④ 「4つの場面を意識した取組の状況」 「急変時の対応」においては、消防署等との意見交換から、仕組みづくりにつながるケースもあります。（松江市、出雲市など）

③質問5で「3.急変時の対応」に1もしくは2と回答した方に伺います。

③-1.次のような取組を行っていますか。

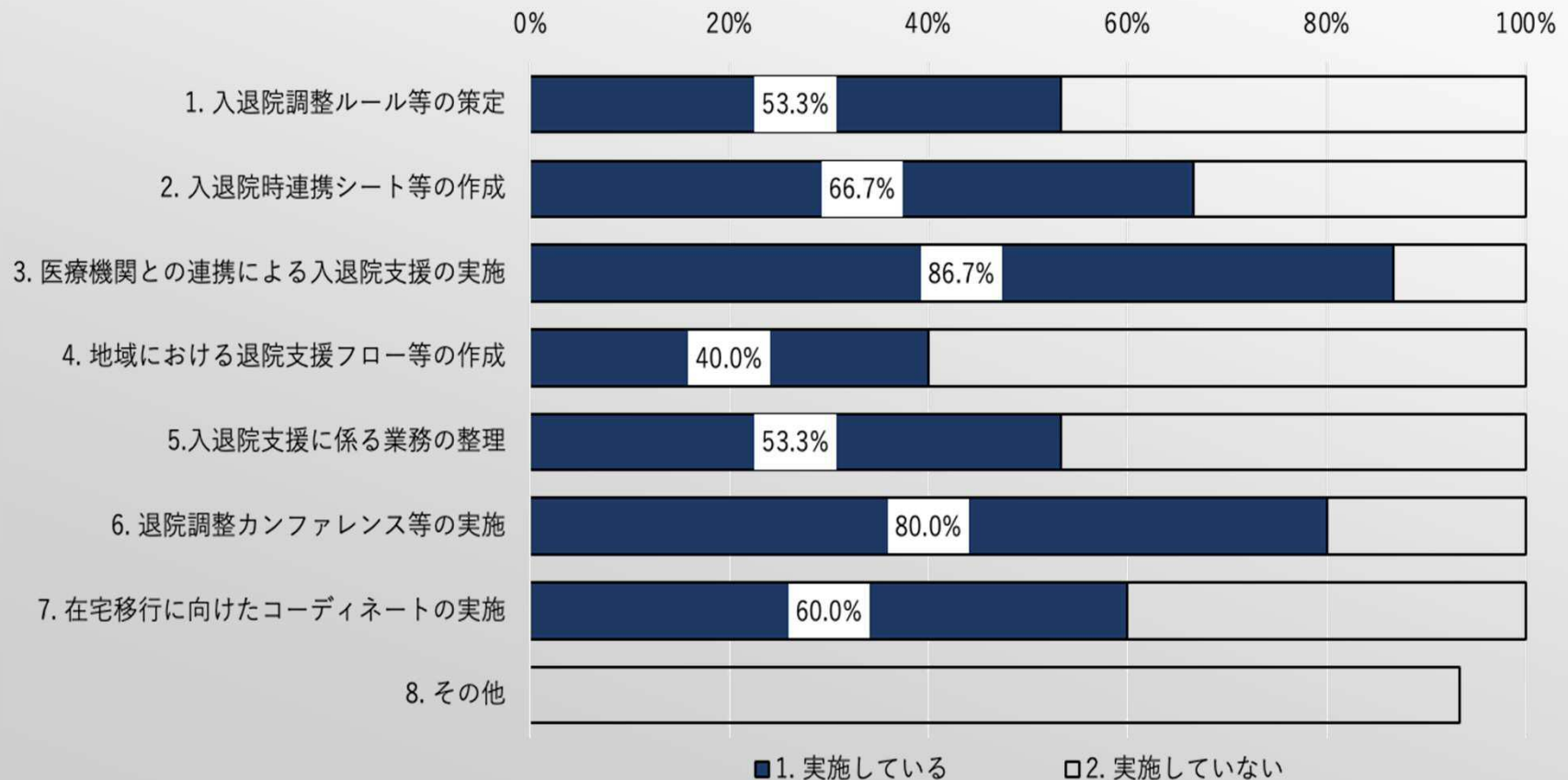


21. ⑤ 「4つの場面を意識した取組の状況」

「入退院支援」においては、入退院ルールの策定や仕組みづくりなど、取組が進んでいます。

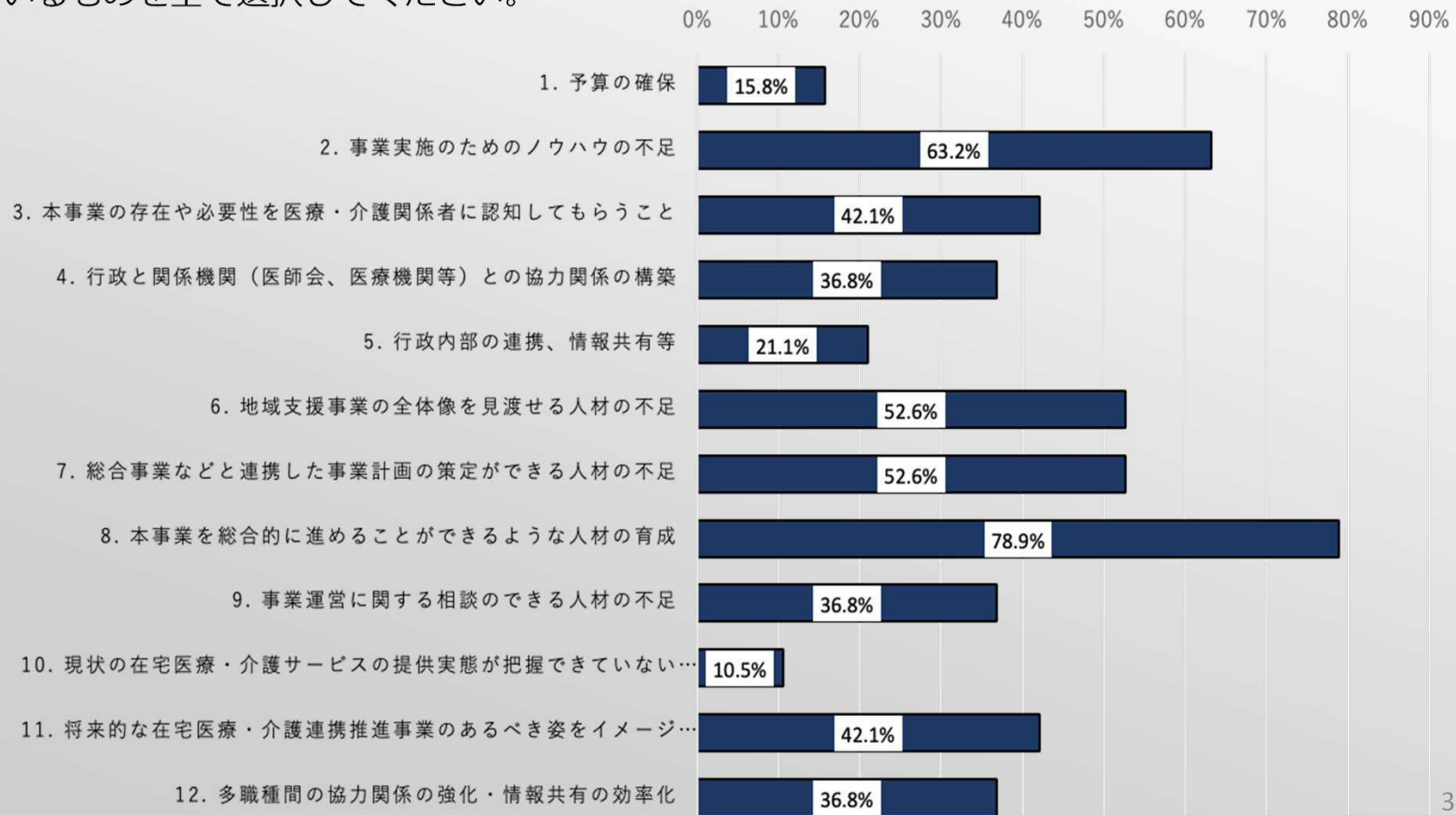
④質問5で「4.入退院支援」に1もしくは2と回答した方に伺います。

④-1.次のような取組を行っていますか。



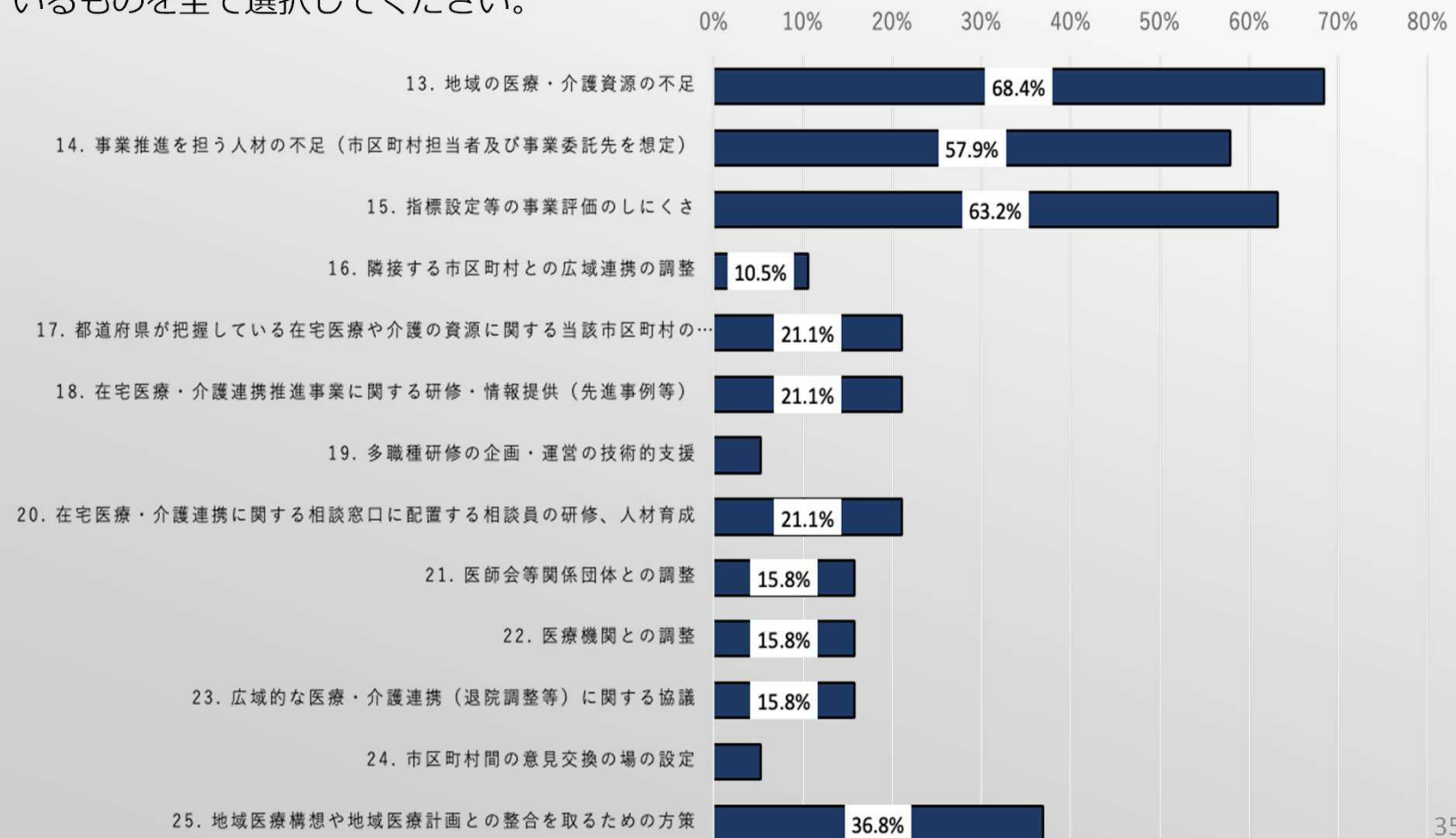
22.① 「事業実施していく中での課題」 事業を円滑に進めていく上でのノウハウや、その基盤となる人材の 不足などがあげられています。

問6 ①次のうち、貴市区町村が在宅医療・介護連携推進事業を実施していく中で課題だと感じているものを全て選択してください。



22.② 「事業実施していく中での課題」 「地域資源の不足」だけでなく、「事業評価のしにくさ」についても難しさを感じています。

問6 ①次のうち、貴市区町村が在宅医療・介護連携推進事業を実施していく中で課題だと感じているものを全て選択してください。



23.① 「課題の解消の優先順位／県への支援を期待する割合」 「ノウハウ」や「人材の不足/育成」などについて、課題解消の優先順位が高く、県への支援も求められています。

問6 ②その中でも課題の解消の優先順位が高いと考えるもの
④都道府県に支援を期待する課題を選んでください。



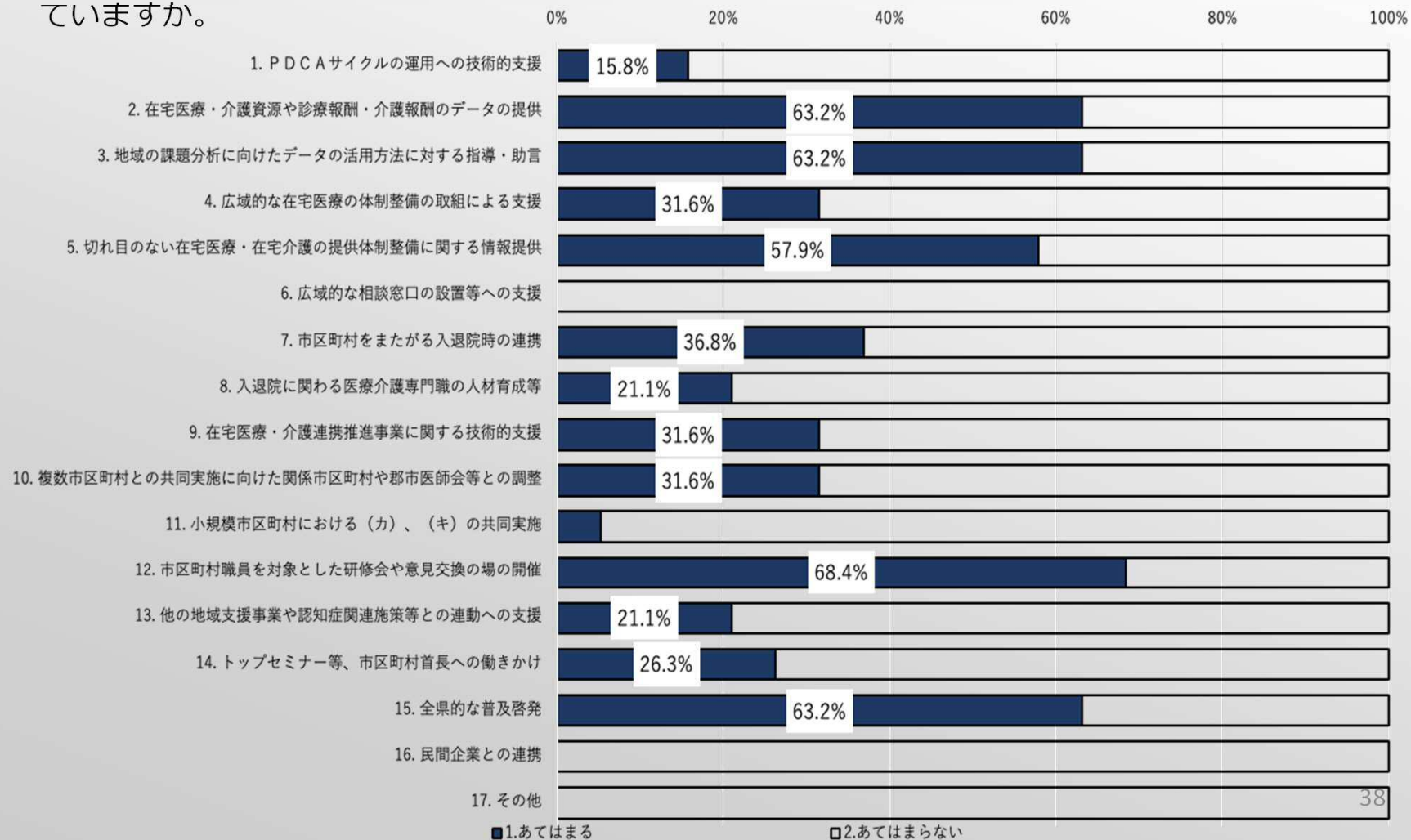
**23.② 「課題の解消の優先順位／県への支援を期待する割合」
「地域資源の不足」だけでなく「事業評価のしにくさ」や「地域医療構想との整合性」も優先順位が高く、支援が求められています。**

問6 ②その中でも課題の解消の優先順位が高いと考えるもの
④都道府県に支援を期待する課題を選んでください。



24. 「県からどのような支援を受けているか」 「データ活用を含めた情報提供」や「市町村職員向け研修会の実施」などがあげられる一方、支援が弱い項目もあります。

問7 貴市区町村が在宅医療・介護の連携を推進できるよう、都道府県から次のような支援を受けていますか。



まとめ

市町村担当者のみなさまへ

本スライドでは、島根県内市町村の回答結果をまとめてみました。事業評価や振り返りなど、進捗管理の参考としてください。

なお、本資料に掲載しているデータ等については、ご自由にご活用ください。

また、在宅医療介護連携推進事業におけるお悩みなどありましたら、遠慮なくご連絡ください。一緒に考えましょう。

最後までお目通しいただき、ありがとうございました。